

基本計画 重点プログラム
市民アンケート結果
(まちづくり評価委員会資料)

平成 24 年 (2012 年) 7 月

横須賀市都市政策研究所

は じ め に

横須賀市では、平成 10 年に策定した横須賀市総合計画にもとづき、「国際海の手文化都市」を目指したまちづくりを進めています。

平成 23 年 4 月からは、市の基本的な政策・施策の体系、政策の目標などを示した、新たな基本計画、実施計画が同時にスタートしました。

この基本計画では、計画期間中に、特に重点的・優先的に実行する取り組みとして、持続可能な発展に必要な都市力の向上を目的とした「重点プログラム」を位置付けています。

今回、昨年度に引き続き、重点プログラムの目的、各プログラムが実現を目指す都市の姿、その取り組みの方向性に対する市民の皆さまの実感を伺うアンケート調査を実施しました。

(15 歳以上の 2,000 の方が対象)

調査で得られた結果は、重点政策・施策評価や政策展開を検討する上での基礎資料として、十分に活用してまいります。

本調査にご協力いただきました皆さまには、厚くお礼申し上げます。

平成 24 年 (2012 年) 7 月

横須賀市都市政策研究所

報告書の見方

1. 基本計画重点プログラム市民アンケートでは、各重点プログラムが実現を目指す都市の姿、その都市の姿を実現するための取り組みの方向性について、以下のとおり設問し、実感を尋ねている。(P111 アンケート調査票参照)

(1) 現在の状況

重点プログラムが実現を目指す都市の姿、取り組みの方向性で掲げる状態にあるか
⇒「①思う」「② やや思う」「③どちらともいえない」「④ あまり思わない」
「⑤思わない」の5段階と、「⑥わからない」を設定

(2) 以前との比較

重点プログラムが実現を目指す都市の姿、取り組みの方向性に向かって
⇒「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」「③変わっていない」
「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」の5段階と、
「⑥わからない」を設定

2. アンケートの設問に対する回答者の傾向を観察するため、DI（ディフュージョンインデックス 景気動向指数／拡散指数）の考え方を利用している。

プラスの回答ポイント - マイナスの回答ポイント = DI として記述している。

DI とは、「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して得られた指数をいう。
マイナス 100 からプラス 100 の間を取る。

3. 集計結果では、「⑥わからない」と「無回答」を除いて、回答割合を算出している。
回答率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100%とならない場合がある。

・現在の状況 「①思う」 + 「② やや思う」
・以前との比較 「①よくなっている」 + 「②どちらかというよくなっている」
⇒プラスの回答ポイント

・現在の状況 「④ あまり思わない」 + 「⑤思わない」
・以前との比較 「④どちらかという悪くなっている」 + 「⑤悪くなっている」
⇒マイナスの回答ポイント

- ・DI がプラス … アンケート回答者の実感が、良好・改善の傾向にある
- ・DI がマイナス … アンケート回答者の実感が、停滞・後退の傾向にある

目 次

I. 調査目的および実施方法等	1
II. 集計結果 ー重点プログラムが実現を目指す都市の姿と取り組みの方向性の状況ー	4
(1) 各重点プログラムが目指す都市の姿の状況	4
(2) 「重点プログラムの取り組みの方向性別」の状況 (プログラム1・2・3)	6
(3) 「重点プログラムの取り組みの方向性別」の状況 (プログラム4・5)	8
(4) 重点プログラム 取り組みの方向性別優先度	10
(5) 重点プログラム 取り組みの方向性 (優先して取り組むべき政策×現在の実感)	12
III. 集計結果 ープログラム別の状況ー	14
重点プログラム1 「新しい芽を育む」 ～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～	
1 プログラム1 「新しい芽を育む」の傾向	14
2 取り組みの方向性の傾向 (全体)	15
3 取り組みの方向性の傾向 (年齢別)	22
重点プログラム2 「命を守る」 ～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～	
1 プログラム2 「命を守る」の傾向	26
2 取り組みの方向性の傾向 (全体)	27
3 取り組みの方向性の傾向 (2-1年齢別/2-2地域別)	36
重点プログラム3 「環境を守る」 ～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～	
1 プログラム3 「環境を守る」の傾向	44
2 取り組みの方向性の傾向 (全体)	45
3 取り組みの方向性の傾向 (3-1地域別/3-2年齢別)	54

重点プログラム4 「にぎわいを生む」

～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

- 1 プログラム4 「にぎわいを生む」の傾向 …………… 62
- 2 取り組みの方向性の傾向（全体） …………… 63
- 3 取り組みの方向性の傾向（4－1 職業別／4－2 年齢別） …………… 72

重点プログラム5 「地域力を育む」

～地域と住民の主体性が発揮できる仕組み作り・地域を支えるコミュニティー機能の強化～

- 1 プログラム5 「地域力を育む」の傾向 …………… 80
- 2 取り組みの方向性の傾向（全体） …………… 81
- 3 取り組みの方向性の傾向（5－1 地域別／5－2 年齢別） …………… 90

IV. 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について

- －現在の状況と以前との比較－ …………… 94

V. 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について

- －優先して取り組むべき政策－ …………… 102

基本的な属性（F 1～F 5） …………… 108

調査票 …………… 111

I 調査目的および実施方法等

1 調査目的

- (1) 横須賀市基本計画（2011～2021）に掲げた重点プログラムの目的である「持続可能な発展に必要な都市力（都市の魅力）」の向上や、各プログラムが実現を目指す都市の姿、取り組みの方向性について、市民の実感を把握し、今後の政策・施策の改善に活用する。
- (2) 重点プログラムを効果的に推進するため、プログラムを構成する事業を検証し、今後の方向性を検討する重点政策・施策評価に活用する。

2 調査項目

問 1～15

「各重点プログラムが実現を目指す都市の姿」「都市の姿を実現するための取り組みの方向性」について

問 16

「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）」について

問 17

「優先して取り組むべき政策」について

問 18

「横須賀市の魅力」について

問 19

「横須賀市への愛着」について

問 20

「横須賀市のイメージ」について（現在の都市イメージ・望ましい都市イメージ）

<基本的な属性>

F 1 性別 / F 2 年齢 / F 3 居住地域 / F 4 職業 / F 5 世帯の状況

3 調査項目と重点プログラムの対応関係

アンケートの調査項目のうち、問1～問15は、各重点プログラムが実現を目指す都市の姿、それを実現するための取り組みの方向性に対応した設問である。

また、問16は、重点プログラムの目的である「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）」についての設問で、いずれも、**市民の実感**を尋ねる内容となっている。

図表 I 調査項目と基本計画重点プログラムの対応関係

重点プログラム		対応する設問	取り組みの方向性		対応する設問
1	新しい芽を育む	問3	1-1	子どもを産み育てやすいまちづくり	問1
			1-2	人間性豊かな子どもの育成	問2
2	命を守る	問6	2-1	誰もが活躍できるまちづくり	問4
			2-2	安全で安心なまちづくり	問5
3	環境を守る	問9	3-1	人と自然が共生するまちづくり	問7
			3-2	地球環境に貢献するまちづくり	問8
4	にぎわいを生む	問12	4-1	地域経済の活性化と雇用の創出	問10
			4-2	集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	問11
5	地域力を育む	問15	5-1	地域住民の主体性が発揮される枠組みづくり	問13
			5-2	地域を支えるコミュニティ機能の強化	問14

4 調査対象および回収数

調査対象：横須賀市に在住の15歳以上の市民 2,000人

(平成24年4月1日現在；住民基本台帳から無作為抽出)

回収数	回収率	昨年度比
791件	39.6%	2%増

5 実施方法

郵送による発送及び回収

アンケートの実施に際しては、昨年度の調査同様、基本計画に掲げた重点プログラムの内容や目標、達成に向けた取り組みへの理解を促すための参考資料を同封した。

【昨年度の調査との変更点】

(1) 設問の変更

*プログラム2「命を守る」 2-1 誰もが活躍できるまちづくり

問4 (アンケート調査票P114参照)

昨年度の調査結果において、当該プログラムにおける「活躍」の主旨が回答者に正しく伝わっていない傾向がみられたことから、設問中に「年齢、性別、障害の有無等にかかわらず」の文言を補足して記載した。

昨年度：横須賀市は、「誰もが活躍できるまち」だと思いますか。

今年度：横須賀市は、年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、「誰もが活躍できるまち」だと思いますか。

(2) 参考資料の変更

本調査の実施にあたっては、アンケート調査票と併せて、重点プログラムの概要を記載した参考資料を送付している。

昨年度の調査では、重点プロジェクトの目標やその動向（目標値、実績値等）を参考資料に記載したが、その数値が回答の判断に影響を与えている記述が多くうかがえたことから、重点プロジェクトの目標の実績値は記載しないこととした。

このことから、今年度の調査ではより市民の実感に近いデータを把握できている半面、昨年度の調査結果との数値の変動等に影響していることがある。

6 実施時期

平成24年（2012年）4月24日～5月20日 * 発送日－投函締切日

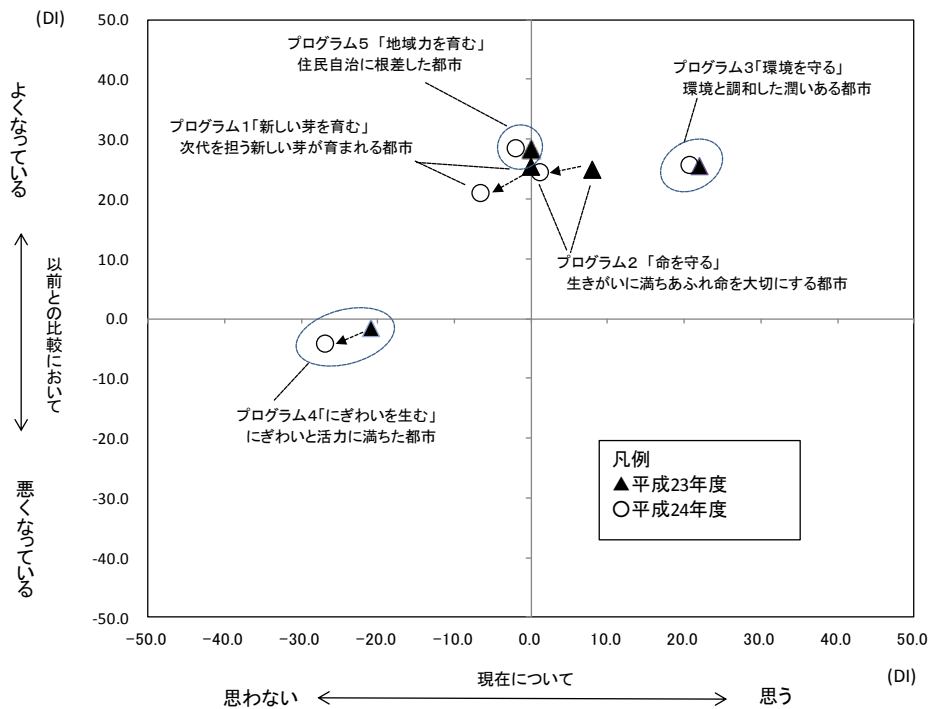
7 調査の企画・分析

横須賀市都市政策研究所で実施

Ⅱ 集計結果 - 重点プログラムが実現を目指す都市の姿と取り組みの方向性の状況 -

(1) 各重点プログラムが実現を目指す都市の姿の状況

図表Ⅱ-1 「現在の状況」「以前との比較」の状況 (H23-24年比較)



【現在の状況】

各プログラムが実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
プログラム1 次代を担う新しい芽が育まれる都市	23年度	591	34.9	35.0	▲ 0.1	▲ 6.6
	24年度	600	31.0	37.7	▲ 6.7	
プログラム2 生きがいに満ちあふれ命を大切にする都市	23年度	631	33.0	33.1	▲ 0.1	▲ 2.0
	24年度	640	31.0	33.1	▲ 2.1	
プログラム3 環境と調和した潤いのある都市	23年度	655	48.2	26.3	21.9	▲ 1.3
	24年度	663	46.9	26.3	20.6	
プログラム4 にぎわいと活力に満ちた都市	23年度	705	27.1	48.1	▲ 21.0	▲ 6.0
	24年度	716	24.4	51.4	▲ 27.0	
プログラム5 住民自治に根差した都市	23年度	586	39.6	31.7	7.9	▲ 6.8
	24年度	602	34.5	33.4	1.1	

【以前との比較】

各プログラムが実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	①よくなっている+②どちらかというよくなっている (a)	④どちらかという悪くなっている+⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
プログラム1 次代を担う新しい芽が育まれる都市	23年度	491	37.3	11.8	25.5	▲ 4.4
	24年度	474	35.4	14.3	21.1	
プログラム2 生きがいに満ちあふれ命を大切にする都市	23年度	543	39.2	10.7	28.5	0.1
	24年度	524	38.3	9.7	28.6	
プログラム3 環境と調和した潤いのある都市	23年度	572	41.2	15.6	25.6	0.2
	24年度	558	40.3	14.5	25.8	
プログラム4 にぎわいと活力に満ちた都市	23年度	629	27.6	29.1	▲ 1.5	▲ 2.6
	24年度	635	29.3	33.4	▲ 4.1	
プログラム5 住民自治に根差した都市	23年度	503	35.4	10.4	25.0	▲ 0.5
	24年度	512	34.4	9.9	24.5	

【調査結果のポイント】

- ・各プログラムが実現を目指す都市の姿に対する実感として、「現在の状況」「以前との比較」ともに良好な状況を示しているのは、プログラム3「環境と調和した潤いのある都市」となった。
- ・一方、「現在の状況」「以前との比較」ともに実感が得られていないのは、プログラム4「にぎわいと活かに満ちた都市」となった。
- ・全体としては、前年とほぼ同様の傾向だが、「プログラム1」「プログラム2」については、低下傾向がみられる。

プログラム1 「次代を担う新しい芽が育まれる都市」(状況/低下)

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年▲0.1→) ▲6.7 (前年差 ▲6.6ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 25.5→) 21.1 (前年差 ▲4.4ポイント)で、プラス幅が縮小

プログラム2 「生きがいと満ちあふれ命を大切にする都市」(状況/大きな変化なし)

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲0.1→) ▲2.1 (前年差 ▲2.0ポイント)で、マイナス幅がやや拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 28.5→) 28.6 (前年差 0.1ポイント)で、大きな変化なし

プログラム3 「環境と調和した潤いある都市」(状況/大きな変化なし)

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 21.9→) 20.6 (前年差 ▲1.3ポイント)で、大きな変化なし
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 25.6→) 25.8 (前年差 0.2ポイント)で、大きな変化なし

プログラム4 「にぎわいと活かに満ちた都市」(状況/やや低下)

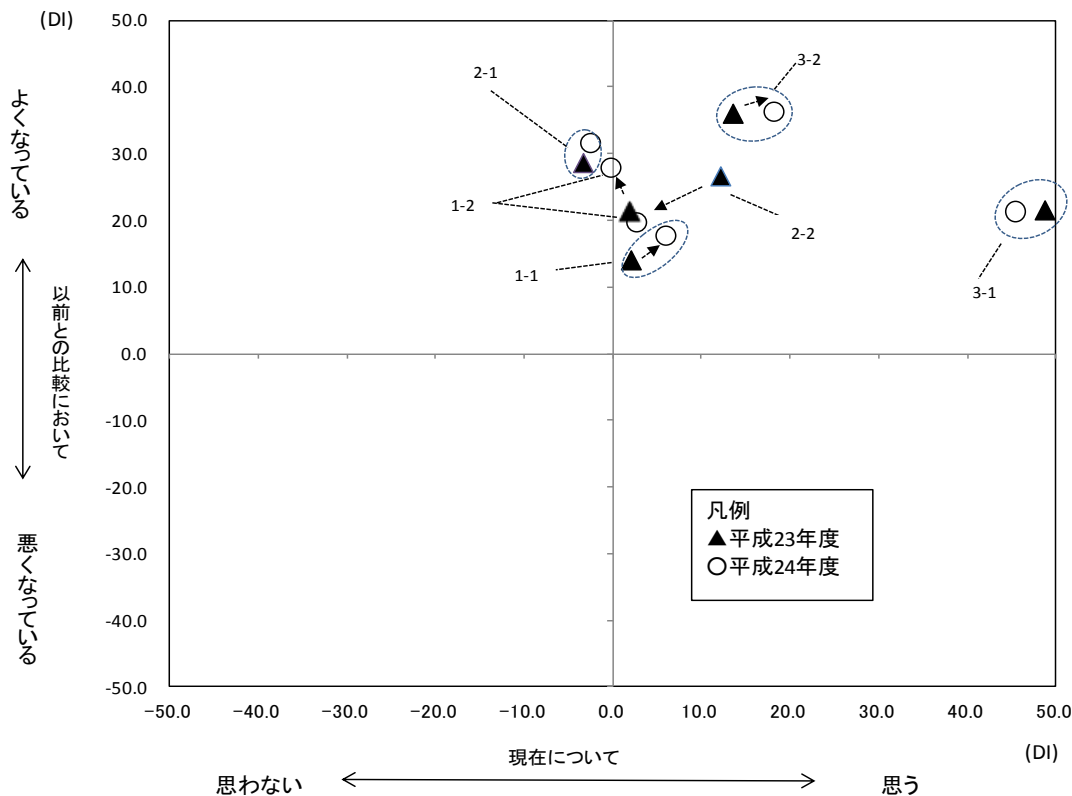
- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲21.0→) ▲27.0 (前年差 ▲6.0ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 ▲1.5→) ▲4.1 (前年差 ▲2.6ポイント)で、マイナス幅が拡大

プログラム5 「住民自治に根差した都市」(状況/やや低下)

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 7.9→) 1.1 (前年差 ▲6.8ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 25.0→) 24.5 (前年差 ▲0.5ポイント)で、大きな変化なし

(2) 「重点プログラムの取り組みの方向性別」の状況(プログラム1・2・3)

図表Ⅱ-2 重点プログラム1・2・3の取り組みの方向性の状況 (H23-24年比較)



【現在の状況】

各プログラムの取り組みの方向性	調査年度	件数(人)	①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	23年度	597	38.2	36.2	2.0	3.9
	24年度	589	39.9	34.0	5.9	
(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	23年度	555	31.4	33.3	▲ 0.1	▲ 0.2
	24年度	554	34.5	34.8	▲ 0.3	
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	23年度	651	35.5	38.9	▲ 3.4	0.8
	24年度	640	34.7	37.3	▲ 2.6	
(2-2) 安全で安心なまちづくり	23年度	711	44.8	32.7	12.1	▲ 9.5
	24年度	728	39.8	37.2	2.6	
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	23年度	716	68.2	19.5	48.7	▲ 3.3
	24年度	727	66.0	20.6	45.4	
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	23年度	666	43.4	29.9	13.5	4.6
	24年度	650	45.7	27.6	18.1	

【以前との比較】

各プログラムの取り組みの方向性	調査年度	件数(人)	①よくなっている+ ②どちらかというと よくなっている (a)	④どちらかというと 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	23年度	524	37.6	23.5	14.1	3.7
	24年度	497	37.7	19.9	17.8	
(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	23年度	476	35.3	13.8	21.5	6.5
	24年度	444	40.1	12.1	28.0	
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	23年度	557	39.8	11.1	28.7	3.0
	24年度	529	40.5	8.8	31.7	
(2-2) 安全で安心なまちづくり	23年度	645	41.0	14.3	26.7	▲ 6.9
	24年度	638	38.0	18.2	19.8	
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	23年度	641	44.1	22.5	21.6	▲ 0.3
	24年度	631	43.3	22.0	21.3	
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	23年度	584	46.2	10.1	36.1	0.3
	24年度	553	44.7	8.3	36.4	

【調査結果のポイント】

- ・プログラム 1 から3を構成する取り組みの方向性のうち、「現在の状況」「以前との比較」ともにプラスの位置にあるのは4つで、特に「3-1人と自然が共生するまちづくり」は、良好な状況を保っている。
- ・「1-1子どもを産み育てやすいまちづくり」に対する実感が上向きとなった。
- ・一方、「2-2安全で安心なまちづくり」は、「現在の状況」「以前との比較」ともに低下した。

【プログラム1】

1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり（状況/上昇）

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 2.0→) 5.9 (前年差 3.9 ポイント)で、プラス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 14.1→) 17.8 (前年差 3.7 ポイント)で、プラス幅が拡大

1-2 人間性豊かな子どもの育成（状況/やや上昇）

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲0.1→) ▲0.3 (前年差 ▲0.2 ポイント)で、大きな変化なし
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 21.5→) 28.0 (前年差 6.5 ポイント)で、プラス幅が拡大

【プログラム2】

2-1 誰もが活躍できるまちづくり（状況/大きな変化なし）

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲3.4→) ▲2.6 (前年差 0.8 ポイント)で、大きな変化なし
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 28.7→) 31.7 (前年差 3.0 ポイント)で、プラス幅が拡大

2-2 安全で安心なまちづくり（状況/低下）

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 12.1→) 2.6 (前年差 ▲9.5 ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 26.7→) 19.8 (前年差 ▲6.9 ポイント)で、プラス幅が縮小

【プログラム3】

3-1 誰もが活躍できるまちづくり（状況/大きな変化なし）

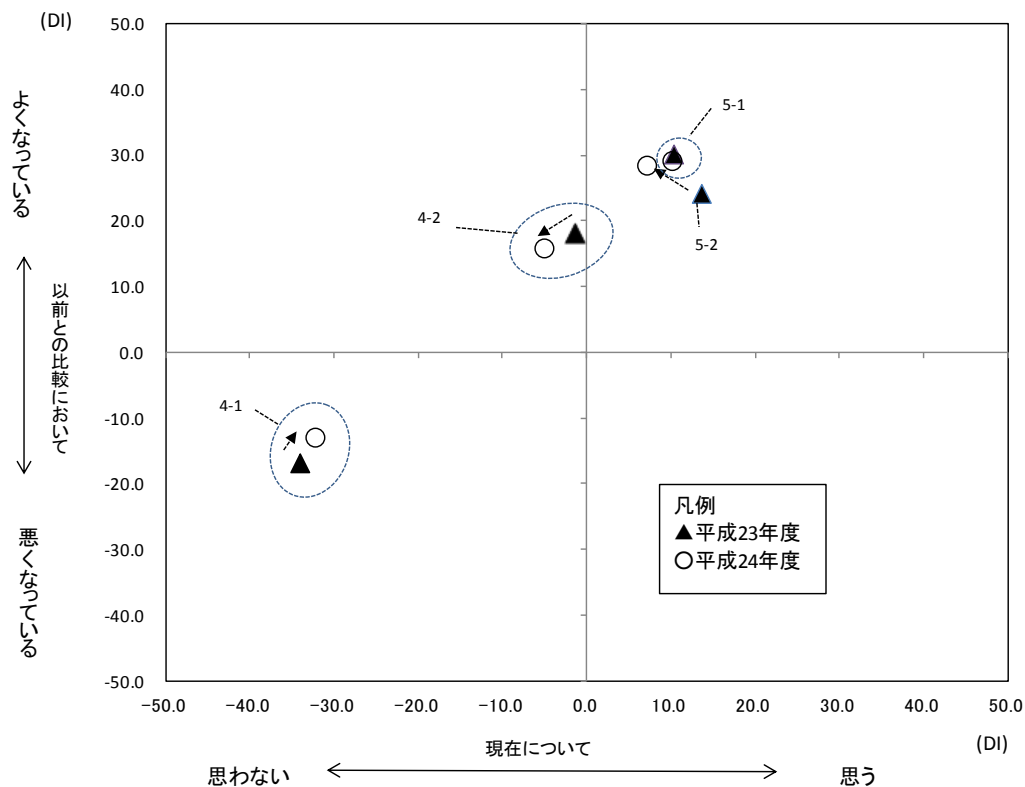
- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 48.7→) 45.4 (前年差 ▲3.3 ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 21.6→) 21.3 (前年差 ▲0.3 ポイント)で、大きな変化なし

3-2 地球環境に貢献するまちづくり（状況/やや上昇）

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 13.5→) 18.1 (前年差 4.6 ポイント)で、プラス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 36.1→) 36.4 (前年差 0.3 ポイント)で、大きな変化なし

(3) 「重点プログラムの取り組みの方向性別」の状況(プログラム4・5)

図表Ⅱ－3 重点プログラム4・5の取り組みの方向性の状況(H23-24年比較)



【現在の状況】

各プログラムの取り組みの方向性	調査年度	件数(人)	①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	D.I (a)-(b)	前年比
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	23年度	653	20.2	54.3	▲ 34.1	1.8
	24年度	668	21.2	53.5	▲ 32.3	
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	23年度	685	37.0	38.5	▲ 1.5	▲ 3.6
	24年度	686	33.8	38.9	▲ 5.1	
(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される仕組みづくり	23年度	599	40.8	30.5	10.3	▲ 0.2
	24年度	597	39.9	29.8	10.1	
(5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の強化	23年度	630	42.0	28.4	13.6	▲ 6.5
	24年度	625	39.8	32.7	7.1	

【以前の比較】

各プログラムの取り組みの方向性	調査年度	件数(人)	①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	D.I (a)-(b)	前年比
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	23年度	595	22.2	39.0	▲ 16.8	3.9
	24年度	577	24.8	37.7	▲ 12.9	
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	23年度	609	38.0	19.7	18.3	▲ 2.4
	24年度	598	35.8	19.9	15.9	
(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される仕組みづくり	23年度	516	39.1	8.9	30.2	▲ 1.0
	24年度	514	38.7	9.5	29.2	
(5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の強化	23年度	536	36.2	12.0	24.2	4.3
	24年度	532	39.8	11.3	28.5	

【調査結果のポイント】

- ・プログラム4および5を構成する取り組みの方向性のうち、プログラム5の2つの取り組みの方向性は、「現在の状況」「以前との比較」ともに、プラスで良好な状況にある。
- ・一方、プログラム4の取り組みの方向性のうち、「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」は依然として「現在の状況」「以前との比較」ともにマイナスに位置し、実感が得られていない状況にある。
- ・前年度との比較で、「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」に対する実感が上向きの動きを示す一方で、「4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」は、「現在の状況」「以前との比較」ともに低下した。

【プログラム4】

4-1 地域経済の活性化と雇用の創出（状況/やや上向き）

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲34.1→) ▲32.3 (前年差 1.8 ポイント)で、マイナス幅がやや縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 ▲16.8→) ▲12.9 (前年差 3.9 ポイント)で、マイナス幅が縮小

4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり（状況/低下）

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲1.5→) ▲5.1 (前年差 ▲3.6 ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 18.3→) 15.9 (前年差 ▲2.4 ポイント)で、プラス幅がやや縮小

【プログラム5】

5-1 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり（状況/大きな変化なし）

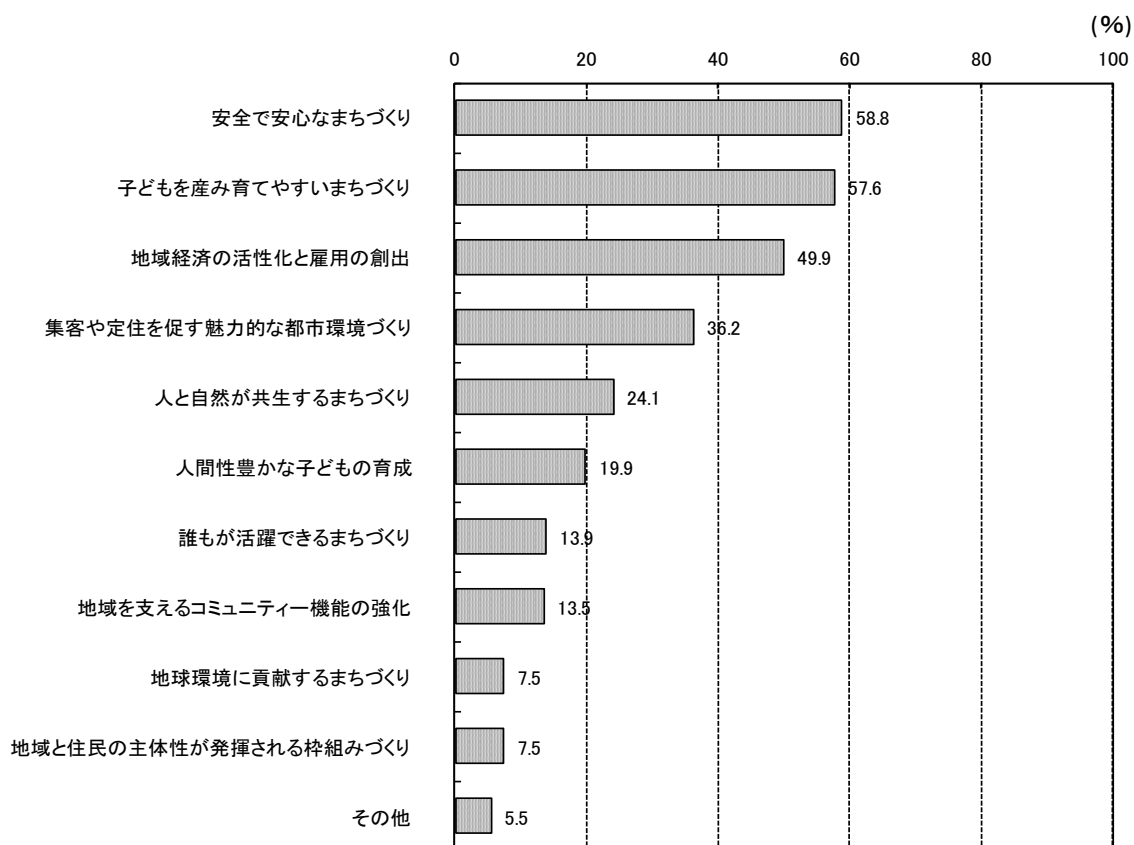
- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 10.3→) 10.1 (前年差 ▲0.2 ポイント)で、大きな変化なし
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 30.2→) 29.2 (前年差 ▲1.0 ポイント)で、大きな変化なし

5-2 地域を支えるコミュニティ機能の強化（状況/やや低下）

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 13.6→) 7.1 (前年差 ▲6.5 ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 24.2→) 28.5 (前年差 4.3 ポイント)で、プラス幅が拡大

(4) 重点プログラム 取り組みの方向性別優先度

図表Ⅱ-4 重点プログラムの取り組みの方向性別優先度



注) 複数回答3つまで選択/その他には、市への個別具体的な要望等が多く含まれている

図表Ⅱ-5 重点プログラムの取り組みの方向性別優先度の構成比 (H23-24年比較)

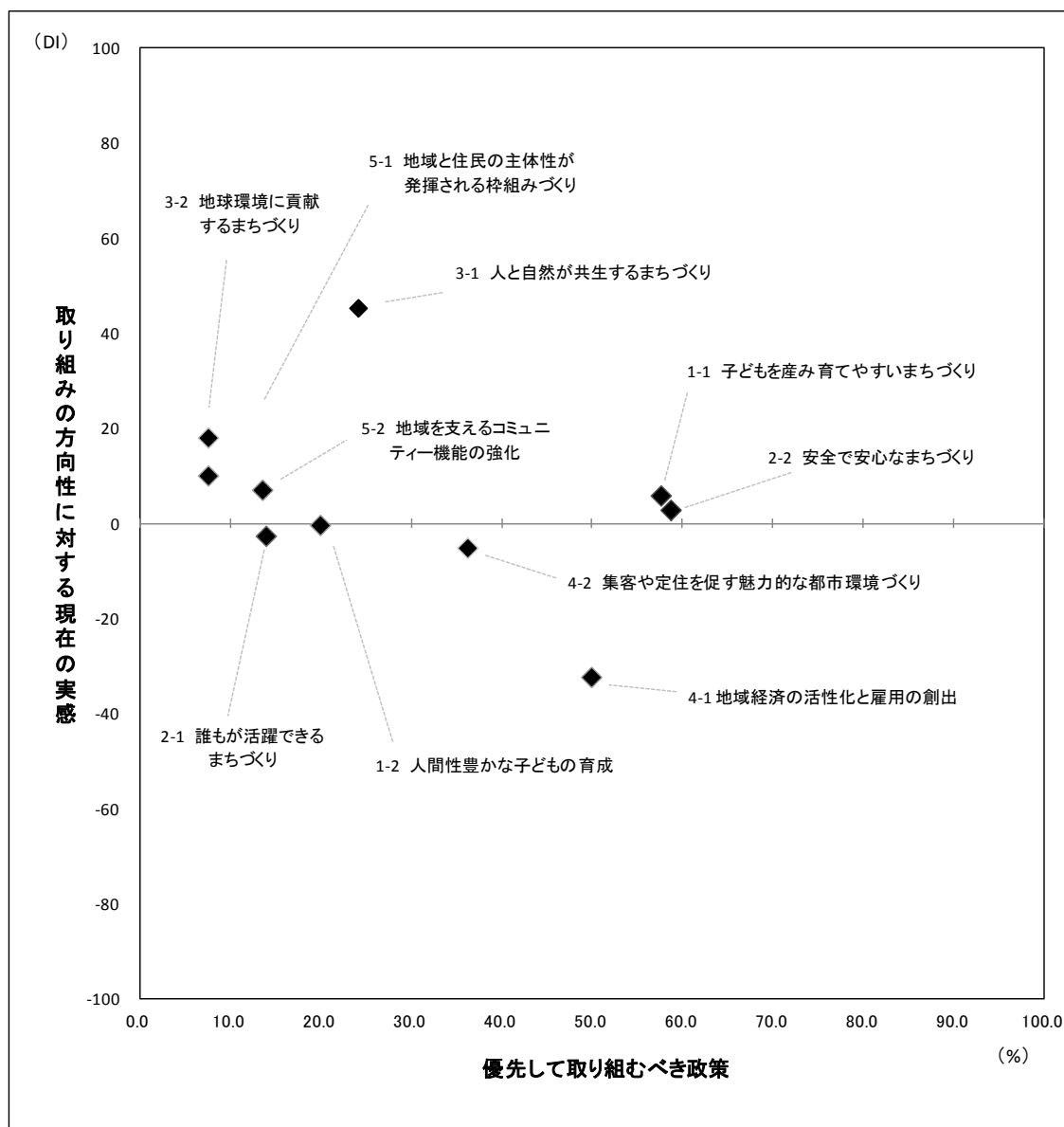
取り組みの方向性	23年度		24年度		前年比
	順位	構成比 (%)	順位	構成比 (%)	
(2-2) 安全で安心なまちづくり	2	61.6	1	58.8	▲ 2.8
(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	1	61.9	2	57.6	▲ 4.3
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	3	49.8	3	49.9	0.1
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	4	34.7	4	36.2	1.5
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	5	24.1	5	24.1	▲ 0.0
(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	6	21.0	6	19.9	▲ 1.1
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	8	10.6	7	13.9	3.3
(5-2) 地域を支えるコミュニティー機能の強化	7	12.6	8	13.5	0.9
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	9	10.4	9	7.5	▲ 2.9
(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	10	5.8	10	7.5	1.7

【調査結果のポイント】

- ・各プログラムの取り組みの方向性の優先度について、全体的な傾向は前年とほぼ同様であるが、「2-2安全で安心なまちづくり」が、最も高い構成比となった。
- ・この項目は、前年度との比較で、すべての取り組みの方向性のうち、「現在の状況」「以前との比較」のDIが最も低下している。(P6参照)
- ・また、昨年同様、「1-1子どもを産み育てやすいまちづくり」の優先度が高くなった。
- ・これらに続き優先度の高い項目は、プログラム4を構成する「4-1地域経済の活性化と雇用の創出」「4-2集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」となった。
- ・プログラム4は、図表Ⅱ-1 (P4参照)で示したとおり、すべてのプログラムの中で、「現在の状況」「以前との比較」ともにDIがマイナスのプログラムである。

(4) 重点プログラム 取り組みの方向性
(優先して取り組むべき政策×現在の実感)

図表Ⅱ-6 取り組みの方向性 (優先度の構成比×現在の実感)



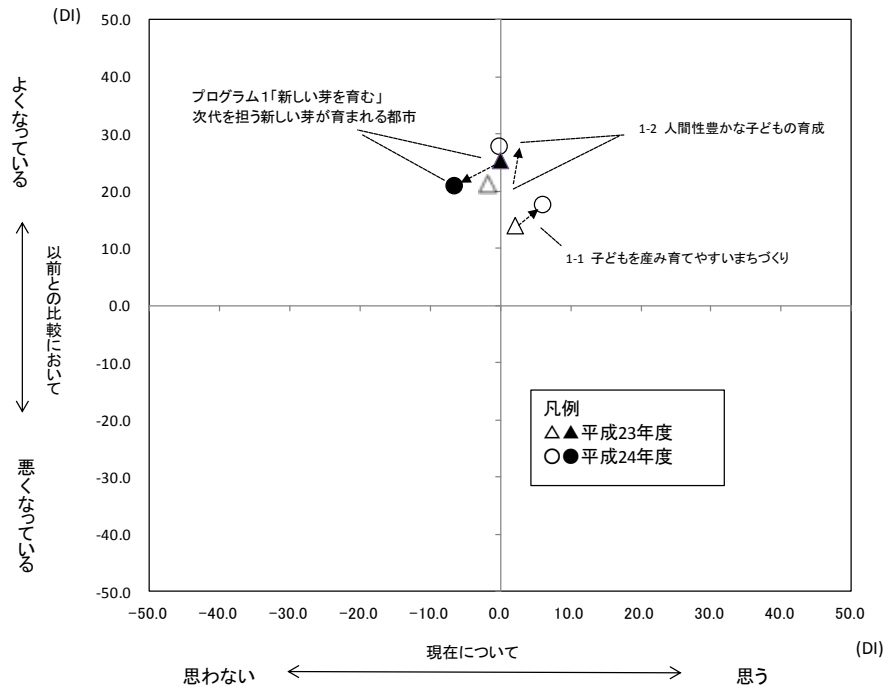
- ・「優先して取り組むべき政策」の回答割合が高く、現在の実感が低い項目は、「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」となった。
- ・「優先して取り組むべき政策」の回答割合が最も高い「2-2 安全で安心なまちづくり」に対する現在の実感は、ほぼ、プラスマイナスゼロの状況となった。
- ・重点プログラム3および5を構成する取り組みの方向性については、すべて DI がプラスで、「優先して取り組むべき政策」の回答割合が低いゾーンにある。

III 集計結果 –プログラム別–

重点プログラム1 『新しい芽を育む』 ～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～

1 プログラム1「新しい芽を育む」の傾向

図表Ⅲ－1 重点プログラム1の目的、取り組みの方向性の状況



【現在の状況】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	23年度	597	38.2	36.2	2.0	3.9
	24年度	589	39.9	34.0	5.9	
(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	23年度	555	31.4	33.3	▲ 1.9	1.6
	24年度	554	34.5	34.8	▲ 0.3	
次代を担う新しい芽が育まれる都市	23年度	591	34.9	35.0	▲ 0.1	▲ 6.6
	24年度	600	31.0	37.7	▲ 6.7	

【以前の比較】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	23年度	524	37.6	23.5	14.1	3.7
	24年度	497	37.7	19.9	17.8	
(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	23年度	476	35.3	13.8	21.5	6.5
	24年度	444	40.1	12.1	28.0	
次代を担う新しい芽が育まれる都市	23年度	491	37.3	11.8	25.5	▲ 4.4
	24年度	474	35.4	14.3	21.1	

○プログラム1が実現を目指す「次代を担う新しい芽が育まれる都市」のDIの動きをみると、DIが、「現在の状況」で6.6ポイント、「以前との比較」で4.4ポイント低下しており、回答者の実感が弱い状況にあるとみることができる。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲0.1→) ▲6.7 (前年差 ▲6.6ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 25.5→) 21.1 (前年差 ▲4.4ポイント)で、プラス幅が縮小

2 取り組みの方向性の傾向（全体）

(1) 1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり

「現在の状況」「以前との比較」ともに、4ポイント程度上昇しており、良い方向に進んでいるとみることができる。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 2.0→) 5.9 (前年差 3.9ポイント)で、プラス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 14.1→) 17.8 (前年差 3.7ポイント)で、プラス幅が拡大

【回答理由】

「①思う」「②やや思う」

「自然環境の良さ」や「子育て支援施策や施設の充実」などが多く挙げられている。

「④あまり思わない」「⑤思わない」

「産科（医師含む）、小児科など医療体制が不十分」「保育所、学童などの不足」「助成などの子育て支援施策が不十分」などが理由として多く挙げられている。

(2) 1-2 人間性豊かな子どもの育成

「現在の状況」は大きな動きはみられないものの、「以前との比較」が6.5ポイント上昇しており、良い方向に進んでいるとみることができる。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲1.9→) ▲0.3 (前年差 1.6ポイント)で、マイナス幅がやや縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 21.5→) 28.0 (前年差 6.5ポイント)で、プラス幅が拡大

【回答理由】

「①思う」「②やや思う」

「市の取り組みの内容や成果」「学校教育環境の充実」が多く挙げられているほか、「子ども見守り隊、子ども会など地域活動の充実」が挙げられている。

「④あまり思わない」「⑤思わない」

- ・ 「進められている実感が無い」「教師の資質が良くない」が多く挙げられている。
- ・ また、「子どもたちの様子を見て」という理由が多い一方、「大人・親・家庭が良くない、またその指導育成がない」も多く挙げられている。

■ 回答理由分類

1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自然が多い、気候が温暖など自然環境の充実	34	25.2
地域環境がよい、市民性、自分の経験から	22	16.3
子育て支援施策や助成等の充実、事業内容から	19	14.1
公園・支援センターなど子育てに関係する施設の充実	13	9.6
保育所・学童等の充実、待機児童の減少	10	7.4
首都圏である、通勤しやすいなど利便性が高い	7	5.2
産科・小児科などの医療体制や医療費助成等の充実	4	3.0
教育環境の充実	4	3.0
犯罪が少ない、悪影響が少ないなど安全安心	4	3.0
その他、意見等	4	3.0
産科の減少、保育所が少ないなど	14	10.4
	135	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
産科(医師含む)、小児科など医療体制が不十分	70	39.5
保育所、学童などの不足	26	14.7
医療、出産、保育にかかる費用が高い、助成などの支援が不十分	24	13.6
市の取り組みが遅い・不十分、情報発信が少ない	7	4.0
公園など子育て施設の不足、遊具の安全性が不安	6	3.4
他都市と変わらない、実感として思わない、わからない	6	3.4
学校数の減、教育環境が不十分	6	3.4
治安が悪い、繁華街などが子どもに悪影響	5	2.8
企業減少、雇用減少	5	2.8
他都市との比較によるサービスの不足	4	2.3
その他、意見等	15	8.5
子ども見守り隊はよい、コールセンターは心強いなど	3	1.7
	177	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
子育て支援施策、助成等の充実	17	21.0
保育所・学童等の充実、待機児童の減少	9	11.1
よくなってきている	8	9.9
サークルの増加、地域ぐるみでの支援体制	7	8.6
産科・小児科などの医療体制や医療費助成等の充実	6	7.4
公園・支援センターなど子育て施設の充実	6	7.4
利便性も上がり、子育て環境が商店	5	6.2
市民や行政の意識向上	4	4.9
教育環境の充実	3	3.7
その他、意見等	8	9.9
産科の減少、子どもの減少、情報発信不足など	8	9.9
	81	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
産科（医師含む）、小児科など医療体制が不十分	44	50.0
健全な遊び場がない、公園の整備が不十分、外で遊ばない	5	5.7
親の質の低下、親への教育の場がない	5	5.7
医療費、出産補助費助成など子育てへの財政的な支援が不十分	5	5.7
保育所、学童などの不足、サービスの低下	4	4.5
企業減少、雇用減少、市外への転職・離職の増加	4	4.5
人口減少、子どもの減少	4	4.5
商店街の閉鎖、商業施設の減少で不便になった	3	3.4
よくなっていると思わない	3	3.4
教育環境の悪化	2	2.3
その他、意見等	9	10.2
	88	100.0

1-2 人間性豊かな子どもの育成

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
市の取り組みの内容や成果、資料をみて	15	21.7
学校教育環境の充実（ALT、朝読書、PC等）	15	21.7
自然環境がよい	7	10.1
子ども見守り隊、子ども会など地域活動の充実	7	10.1
そう思う、他市と比較してよい	3	4.3
子どもたちの様子をみて	2	2.9
外国人との交流がある	2	2.9
支援が必要な児童、生徒へのサポートの充実	2	2.9
図書サービスの充実	2	2.9
医療施設、公園などの充実	2	2.9
その他、意見等	10	14.5
他市と変わらない、取り組みを知らなかった	2	2.9
	69	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
進められている実感がない	12	10.6
教師の資質がよくない	12	10.6
子どもたちの様子をみて	11	9.7
施策内容に疑問がある、ポイントがずれている	8	7.1
大人・親・家庭がよくない、またその指導育成がない	8	7.1
学校教育が充実していない	7	6.2
学力が低い、塾通いの子どもが多い	6	5.3
具体的な取り組みが表にみえない、他市と変わらない	6	5.3
行政の努力・取り組み・姿勢が不十分	5	4.4
教育施設、子どもの遊び場が不十分	5	4.4
支援が必要な児童、生徒へのサポートの不足、不登校が多い	3	2.7
学童が充実していない	3	2.7
その他、意見等	27	23.9
	113	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
英語教育、支援教育、児童相談所など教育・子育て政策の充実	9	18.8
よくなっている、進んでいると思う	9	18.8
地域における子どもたちのサポート体制の充実	7	14.6
学校環境・施設設備の向上	6	12.5
子どもたちの様子を見て	3	6.3
資料や広報をみて	3	6.3
学校、家庭、地域の連携の向上	2	4.2
公園の充実	2	4.2
行政、大人の関心向上	2	4.2
その他、意見等	4	8.3
他市と変わらない	1	2.1
	48	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
子どもたちの様子を見て	7	21.2
学校の教育力・学習環境の低下、施策内容に疑問がある	5	15.2
大人・親・家庭がよくない、大人の悪い面をみている	4	12.1
学力の低下、不登校が多い	3	9.1
教員の質の低下	3	9.1
よくなっていると思わない	2	6.1
行政からの規制が多い、行政の真剣さを感じない	2	6.1
その他、意見等	7	21.2
	33	100.0

次代を担う新しい芽が育まれる都市

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
市の取り組みや学校教育の充実、資料をみて	16	22.2
自然環境に恵まれている	11	15.3
希望・期待、可能性がある	5	6.9
外国人との交流がある、国際色が強い	3	4.2
大学がある、公園、学童など子育て施設の充実	4	5.6
都心に近い	4	5.6
そう思う、進歩している、他市と比較してよい	4	5.6
学校・地域の協力体制がある、地域が熱心である	4	5.6
その他、意見等	13	18.1
産科の減少、保育所が少ないなど	8	11.1
	72	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
学校教育が充実していない、教員の質の低下	22	20.2
公園や学童、産科、支援施設が不十分、子育て施策が不十分	14	12.8
人口減少、若者の市外流出、雇用の減少、産業の減少	14	12.8
取り組みがみえない、施策が不十分、成果がない、思わない	8	7.3
横須賀に魅力がない、横須賀の地域性	7	6.4
施策内容に疑問がある、ずれている	6	5.5
学力の低下、不登校が多い、いじめの問題	5	4.6
少子高齢化、子どもの減少	4	3.7
子どもたちの様子を見て	3	2.8
情報発信不足で伝わってこない	3	2.8
自然の減少	3	2.8
その他、意見等	19	17.4
大学がある	1	0.9
	109	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
市の取り組みや施策の充実、資料をみて	9	17.3
よくなっている、そう思いたい、悪くはなっていない	7	13.5
学校教育の充実	7	13.5
子どもたちの様子をみて	3	5.8
公園、子育て施設の整備	4	7.7
子どもたちの様子をみて	3	5.8
地域の協力体制がある	4	7.7
人間関係が密になった	2	3.8
その他、意見等	10	19.2
不登校の子どもが学習できる場がないなど	3	5.8
	52	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
子どもたちの様子をみて	5	12.8
学校教育が充実していない、教員の質の低下	4	10.3
よくなっていない、他市と比較してよくない、市の方向性が不明	4	10.3
大人・親がよくない	3	7.7
少子高齢化、子どもの減少	3	7.7
いじめの問題、学校選択制の善し悪し	3	7.7
雇用の減少、産業の減少、商店街の閉鎖	3	7.7
人口減少、若者の市外流出	3	7.7
産科の減少	3	7.7
その他	8	20.5
	39	100.0

3 取り組みの方向性の傾向（年齢別）

(1) 1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・「現在の状況」「以前との比較」とともに、取り組みの主な対象となる30歳代のDIがマイナスで、特に、「現在の状況」の30歳代では、前年比▲31.3ポイントと大きな低下となった。
- ・一方、50歳代以上のDIは大きく上昇しており、世代間で大きな差がみられる。
- ・全体としては、良い方向に進んでいる傾向がみられるが（P14参照）、取り組みの主な対象と考えられる30歳代からの支持が得られていないことに注意が必要である。

図表Ⅲ-2 1-1「子どもを産み育てやすいまちづくり」の状況（年齢別：H23-24年比較）

【現在の状況】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	69	34.8	31.9	2.9	18.7
	24年度	74	48.6	27.0	21.6	
30歳代	23年度	86	39.5	36.0	3.5	▲31.3
	24年度	53	26.4	54.2	▲27.8	
40歳代	23年度	90	34.4	45.6	▲11.2	1.4
	24年度	76	29.3	39.1	▲9.8	
50歳代	23年度	109	35.8	37.6	▲1.8	18.0
	24年度	91	45.7	29.5	16.2	
60歳以上	23年度	233	21.0	16.3	4.7	9.4
	24年度	227	43.6	29.5	14.1	

【以前との比較】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	46	50.0	13.0	37.0	▲13.1
	24年度	46	41.3	17.4	23.9	
30歳代	23年度	74	33.8	20.3	13.5	▲11.6
	24年度	34	26.4	24.5	1.9	
40歳代	23年度	82	35.4	26.9	8.5	9.9
	24年度	72	35.5	17.1	18.4	
50歳代	23年度	100	29.0	33.0	▲4.0	18.3
	24年度	69	36.3	22.0	14.3	
60歳以上	23年度	214	22.0	8.4	13.6	9.8
	24年度	214	41.1	17.8	23.4	

①29歳以下

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 2.9→) 21.6 (前年差 18.7ポイント)で、プラス幅が大きく拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 37.0→) 23.9 (前年差 ▲13.1ポイント)で、プラス幅が縮小

②30 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 3.5→) ▲27.8 (前年差 ▲31.3 ポイント)で、大きく低下
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 13.5→) 1.9 (前年差 ▲11.6 ポイント)で、プラス幅が縮小

③40 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年▲11.2→) ▲9.8 (前年差 1.4 ポイント)で、マイナス幅がやや縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 8.5→) 18.4 (前年差 9.9 ポイント)で、プラス幅が拡大

④50 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲1.8→) 16.2 (前年差 18.0 ポイント)で、プラスに大きく好転
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 ▲4.0→) 14.3 (前年差 18.3 ポイント)で、プラスに大きく好転

⑤60 歳以上

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 4.7→) 14.1 (前年差 9.4 ポイント)で、プラス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 13.6→) 23.4 (前年差 9.8 ポイント)で、プラス幅が拡大

■ 30 歳代の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=33)
現在の生活エリアに学校や公園が近くにある。
子育て支援の場が多くないが、目につくようになった。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校やショッピングモール等、施設は充実しているように思うので育てやすいと思う。 ・産むとなると里帰り出産になると思う。一人で産んでも問題がない(出産、子育て支援等があり不安がない)ことがわかると良い。(何かの際の問い合わせ先、ネットスーパーの活用、ソフロロジーの産院の充実等)
子ども手当が増額されたし、就学まで医療に補助がある。
周囲に高齢者が多いが、子どもに優しい。
駅にエレベーターが設置されるようになったから。
近所に学童保育がない。赤ちゃん～幼児のサークルは多くあって良いと思う。

※回答末尾に記載の n 値は 5 以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=52)
産婦人科や小児科が少ない。(n=16)
子どもは、いろいろな事にお金がかかる。医療費助成等の年齢が低すぎると思う。(n=10)
仕事をしながら育てるには、便利な施設が少ないと思う。(n=6)
保育園が少ない。市からの補助金が少ないため、学童保育の保育料が高い。(運営難)
子どもの遊び場が少ない。
産みにくい。費用が高い。出産育児一時金が引き上がっても出産費が高くなれば負担はかわらない。
広場などには、転んでも大丈夫なように木のチップを敷いてほしい。
学童保育に対して、お金しか出していない。
サービスは充実しているが、利用しづらいものが多い。
他市と比較すると支援が乏しい。

(1) 1-2 人間性豊かな子どもの育成

【調査結果のポイント】

- ・「現在の状況」「以前との比較」とともに、30歳代の前年比DIがマイナスで、特に、「現在の状況」の30歳代では▲43.3ポイントと大きな低下となった。
- ・一方、29歳以下では、「現在の状況」のDIが14.5ポイント増加し、プラスに転じた。
- ・また、40歳代以上のDIも大きく上昇しており、世代間で大きな差がみられる。
- ・全体としては、良い状況に進んでいる傾向がみられるが（P14参照）、30歳代は、取り組みの対象となる子どもたちの親世代と考えられ、この世代からの実感が得られていないことには注意が必要である。

図表Ⅲ-3 1-2「人間性豊かな子どもの育成」の状況（年齢別：H23-24年比較）

【現在の状況】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	61	27.9	39.3	▲11.5	14.5
	24年度	67	37.3	34.3	3.0	
30歳代	23年度	78	38.4	25.7	12.7	▲43.3
	24年度	62	24.2	54.8	▲30.6	
40歳代	23年度	89	27.0	43.9	▲16.9	7.0
	24年度	91	30.8	40.7	▲9.9	
50歳代	23年度	98	23.5	41.9	▲18.4	18.4
	24年度	98	30.6	30.6	0.0	
60歳以上	23年度	219	17.8	12.3	5.5	4.5
	24年度	220	39.1	29.1	10.0	

【以前との比較】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	46	26.1	2.2	23.9	1.7
	24年度	43	39.5	14.0	25.6	
30歳代	23年度	59	32.2	8.5	23.7	▲26.5
	24年度	36	19.4	22.2	▲2.8	
40歳代	23年度	75	29.4	18.7	10.7	11.8
	24年度	71	33.8	11.3	22.5	
50歳代	23年度	88	25.0	22.7	2.3	22.1
	24年度	78	37.2	12.8	24.4	
60歳以上	23年度	201	21.4	6.0	15.4	22.1
	24年度	200	47.0	9.5	37.5	

①29歳以下

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲11.5→) 3.0 (前年差 14.5ポイント)で、プラスに好転
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 23.9→) 25.6 (前年差 1.7ポイント)で、プラス幅がやや拡大

②30歳代

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 12.7→) ▲30.6 (前年差 ▲43.3ポイント)で、大きく低下
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 23.7→) ▲2.8 (前年差 ▲26.5ポイント)で、大きく低下

③40 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲16.9→) ▲9.9 (前年差 7.0 ポイント)で、マイナス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 10.7→) 22.5 (前年差 11.8 ポイント)で、プラス幅が拡大

④50 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲18.4→) 0.0 (前年差 18.4 ポイント)で、マイナスが解消
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 2.3→) 24.4 (前年差 22.1 ポイント)で、プラス幅が大きく拡大

⑤60 歳以上

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 5.5→) 10.0 (前年差 4.5 ポイント)で、プラス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 15.4→) 37.5 (前年差 22.1 ポイント)で、プラス幅が大きく拡大

■ 30 歳代の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=22)
行政センターなどに図書室があり、本に親しみやすい。
・長女の小学校などで、取り組みが行われているので。(朝読書やALTなど) ・先日、長男のBCG接種の際に図書館から読み聞かせと絵本のプレゼントを頂いた。以前、住んでいた川崎・横浜にはなかったのでいいなあと思った。
横須賀市内でも様々だと思いますが湘南鷹取はいいまちだと思います。
都内などよりは自然も多いし、ゴミなども少ないと思う。
イベントなどに参加している子どもが増えたように思う。

※回答末尾に記載のn値は5以上のもののみ記載

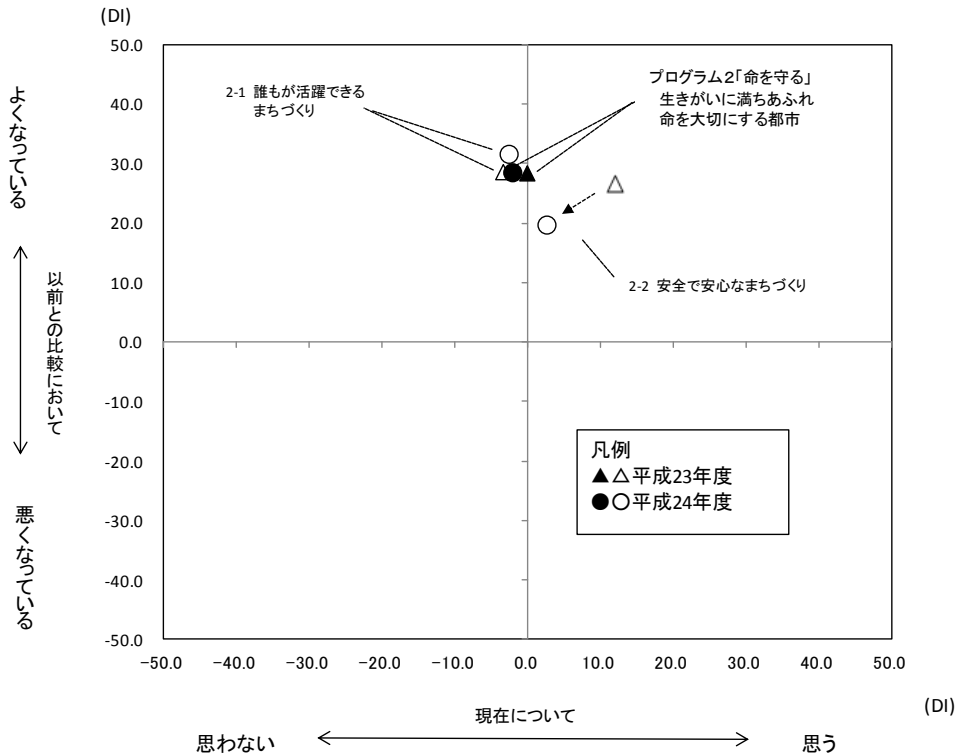
「④あまり思わない、どちらかというよ悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=42)
プロジェクトが進められているようだが、あまり実感がない。(n=5)
個人では色々してると思うが、市側から何か子どもが豊かになるプログラムをしてもらっている感じはない。
・マナーの悪い子が増えている。 ・美術館や図書館、スポーツセンターなど年に何回か、無料で開放したら人間性豊かな子どもが増えると思う。
社会活動している学生が減り自分の事だけに夢中。
子どもの育成を考えた時、まず子どもにかかわる大人の教育が出来ていないといけないと思う。特に教師。
学童保育の指導員、運営を放ってある。
せっかく基地(ベース)があるのに行き来できる機会が少ない。
学力が遅れていると思う。
図書館を利用したいのにもいつも車が満車で入れない。場所が悪いし利用しづらい。
子ども会など、近隣との交流が減っている。
あれもこれもだめだめで人間性豊かにもない。
人間性豊かな子どもは多いが、学校の先生個人の努力や地域の努力によるところが大きい。市として進められているとは思えない。

重点プログラム2 『命を守る』
～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～

1 プログラム2「命を守る」の傾向

図表Ⅲ－4 重点プログラム2の目的、取り組みの方向性の状況（H23-24年比較）



【現在の状況】

取り組みの方向性・実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	23年度	651	35.5	38.9	▲ 3.4	0.8
	24年度	640	34.7	37.3	▲ 2.6	
(2-2) 安全で安心なまちづくり	23年度	711	44.8	32.7	12.1	▲ 9.5
	24年度	728	39.8	37.2	2.6	
生きがいに満ちあふれ命を大切にする都市	23年度	631	33.0	33.1	▲ 0.1	▲ 2.0
	24年度	640	31.0	33.1	▲ 2.1	

【以前の比較】

取り組みの方向性・実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+②どちらかというよくなっている (a)	④どちらかという悪くなっている+⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	23年度	557	39.8	11.1	28.7	3.0
	24年度	529	40.5	8.8	31.7	
(2-2) 安全で安心なまちづくり	23年度	645	41.0	14.3	26.7	▲ 6.9
	24年度	638	38.0	18.2	19.8	
生きがいに満ちあふれ命を大切にする都市	23年度	543	39.2	10.7	28.5	0.1
	24年度	524	38.3	9.7	28.6	

○プログラム2が実現を目指す「生きがいに満ちあふれ命を大切にする都市」の前年比 DI の動きは、大きな変化がない結果となった。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲0.1→) ▲2.1(前年差 ▲2.0ポイント)で、マイナス幅がやや拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 28.5→) 28.6(前年差 0.1ポイント)で、大きな変化なし

2 取り組みの方向性の傾向（全体）

(1) 2-1 誰もが活躍できるまちづくり

DI の前年比は、「現在の状況」「以前との比較」ともに、数ポイントの上昇で、大きな変化はみられない。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲3.4→) ▲2.6(前年差 0.8ポイント)で、大きな変化なし
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 28.7→) 31.7(前年差 3.0ポイント)で、プラス幅が拡大

【回答理由】

「①思う」「②やや思う」

「高齢者、障害者施策、支援・生涯学習施策の充実」「ノンステップバスの普及や公共施設のバリアフリー対策の充実」など市の取り組みのほか、「地域活動が盛ん、ボランティア活動等で活躍する人の増加」などが挙げられている。

「④あまり思わない」「⑤思わない」

- ・最も多く挙げられたのが、取り組みの方向性に関わる事業から直接はイメージされない「経済低迷、雇用の減少、産業の減少、活気のなさ」であった。
- ・これは「誰もが活躍できる」という言葉から想起されている状況に、「経済、雇用の安定」が大きな要素としてあり、それが回答に影響したものと考えられる。
- ・また、「活躍（活動）の場がない、知らない」「道路や公共施設のバリアフリー対策が不十分」など、市の取り組みの不十分さが挙げられている。

(2) 2-2 安全で安心なまちづくり

「現在の状況」「以前との比較」ともに、前年比 DI はプラス幅が縮小し、実感が低下傾向にあるといえる。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 12.1→) 2.6(前年差 ▲9.5ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 26.7→) 19.8(前年差 ▲6.9ポイント)で、プラス幅が縮小

【回答理由】

「①思う」「②やや思う」

「犯罪の減少・治安の良さ」「防災、耐震、災害、救急対策の充実」「自治会、地域団体、ボランティアによる安全対策の充実」が多く挙げられている。

「④あまり思わない」「⑤思わない」

- ・「身近な犯罪の増加、浮浪者、暴力団などの放置、治安の悪化」が最も多く、次いで「基地、原子力・核燃料関連施設、自衛隊の存在、弾薬庫がある」の基地等の施設や放射能に関することが挙げられている。
- ・これら以外では、「通学路・歩道が狭いなど道路整備やバリアフリー化が不十分」「防犯、防災対策への取り組みが不十分」など行政の取り組みの不十分さが挙げられている。

■ 回答理由分類

2-1 誰もが活躍できるまちづくり

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢者、障害者施策、支援・生涯学習施策の充実	20	22.2
地域活動が盛ん、ボランティア活動等で活躍する人の増加	14	15.6
そう思う	9	10.0
病院不足など医療体制が不十分	7	7.8
障害者の就労場所が増えている	7	7.8
支援施設の充実	5	5.6
検診事業、AED など医療環境の充実	3	3.3
支援教育の充実	2	2.2
市民が優しい	2	2.2
その他、意見等	14	15.6
限られた人のみである、施設が充実していないなど	7	7.8
	90	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
経済低迷、雇用の減少、産業の減少	18	16.2
活躍（活動）の場がない、知らない	15	13.5
道路や公共施設のバリアフリー対策が不十分	10	9.0
思わない	10	9.0
高齢者、障害者の雇用が少ない	9	8.1
他市と比較して遅れている、他市と同じ	9	8.1
“誰もが”ではない、差別がある、行政職員の理解がない	9	8.1
高齢者・障害者施策、支援体制が不十分	8	7.2
病院・病床不足など医療体制が不十分	3	2.7
支援施設が少ない、整備が不十分	3	2.7
その他、意見等	17	15.3
	111	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
よくなっていると思う	10	13.2
高齢者、障害者施策、支援・生涯学習施策、取り組みの充実	8	10.5
支援教育の充実	8	10.5
ノンステップバスの普及や公共施設のバリアフリー対策の充実	6	7.9
地域活動が盛ん、ボランティア活動等で活躍する人の増加	5	6.6
検診事業、AED など医療環境の充実	4	5.3
支援施設の充実	4	5.3
障害者の就労等増加	4	5.3
活躍できる場が増えた	4	5.3
災害対策	4	5.3
情報発信、広報の充実	3	3.9
その他、意見等	12	15.8
信号機のない横断歩道が多いなど	4	5.3
	76	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
経済低迷、雇用の減少、産業の減少、活気がない	8	40.0
よくなっていると思わない、変化がない	3	15.0
市の取り組みが不十分	3	15.0
健診事業、病院不足など医療体制が不十分	2	10.0
その他、意見等	4	20.0
	20	100.0

2-2 安全で安心なまちづくり

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
犯罪の減少・治安の良さ	20	17.9
防災、耐震、災害、救急対策の充実	20	17.9
自治会、地域団体、ボランティアによる安全対策の充実	18	16.1
環境がよい、安心して生活できる	13	11.6
そう思う	5	4.5
交通安全対策、バリアフリー化の推進	5	4.5
災害が少ない	5	4.5
警察・消防の存在、米軍基地や自衛隊の存在	4	3.6
医療体制の充実	3	2.7
その他、意見等	12	10.7
まだ急な崖が多い、時々事件がある、基地があるなど	7	6.3
	112	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
身近な犯罪の増加、浮浪者、暴力団などの放置、治安の悪化	59	30.6
基地、原子力・核燃料関連施設、自衛隊の存在、弾薬庫がある	39	20.2
通学路・歩道が狭いなど道路整備やバリアフリー化が不十分	13	6.7
防犯、防災対策への取り組みが不十分、依頼しても対応されない	12	6.2
警察の対応の甘さや不祥事による不信、交番の減少	10	5.2
思わない、他市と変わらない、横須賀の地形・印象から	10	5.2
地震など災害発生への不安、東日本大震災関連、活断層がある	8	4.1
自転車を含む交通マナーの悪化、交通規制が不十分	8	4.1
街が暗い、街灯が少ない	7	3.6
医療体制が不十分、福祉面が遅れている	5	2.6
外国人の存在	5	2.6
モラルの低下、子どもの様子を見て	5	2.6
地域関係の希薄化、地域住民の調和がない	4	2.1
情報提供が不十分	3	1.6
その他、意見等	5	2.6
	193	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
防災、耐震、災害対策や整備の充実	27	28.4
犯罪の減少、治安がよくなっている	15	15.8
よくなっていると思う	12	12.6
自治会、地域団体、ボランティアによる安全対策の充実	9	9.5
通学路等道路整備、バリアフリー化の推進	5	5.3
警察のパトロールの増加、基地、自衛隊の存在	4	4.2
検診事業など医療体制の整備、救急対策の充実	4	4.2
高齢者施策、支援施設の充実	2	2.1
街灯の整備	2	2.1
災害に対する意識の向上	2	2.1
その他、意見等	6	6.3
暴走族が多い、歩車道の区別がない、津波での避難場所が不明など	7	7.4
	95	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
身近な犯罪の増加、浮浪者、暴力団などの放置、治安の悪化	37	52.1
警察活動の低下、交番の減少	6	8.5
モラルの低下、若年者の様子	4	5.6
交通マナーの悪化、暴走族が多い	3	4.2
医療体制が不十分	3	4.2
原子力空母、がれきの受け入れ	2	2.8
変わらない、悪化している	2	2.8
その他、意見等	14	19.7
	71	100.0

生きがいに満ちあふれ命を大切にす都市

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢者・福祉施策、生涯学習・市民講座等の充実	15	20.8
地域活動、ボランティア活動が盛ん、地域の協力体制がある	8	11.1
そう思う、住みやすい	7	9.7
防犯、耐震、防災対策や整備の充実、資料から	7	9.7
福祉施設やサービスの充実、自殺対策向上	5	6.9
高齢者、年配者の様子	5	6.9
健診事業、医療体制の整備	4	5.6
図書館、地区センターなど施設の充実	4	5.6
自然環境の充実	2	2.8
その他、意見等	7	9.7
救急医療センターの新港埠頭移転、格差があるなど	8	11.1
	72	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
思わない、高齢者に生きがいが満ちあふれていない	14	14.4
検診事業、医療体制が不十分	12	12.4
市の取り組み内容をみて、施策への疑問、行政が対応しない	9	9.3
雇用・高齢者雇用の減少、企業の減少、人口の減少	9	9.3
高齢者施策、生涯学習・市民講座、福祉施設が不十分	6	6.2
高齢者の活動場所、機会が少ない	6	6.2
基地、原子力空母、活断層、災害への不安、学校防災が不十分	6	6.2
他市と比較して劣っている、他市と変わらない	5	5.2
地域関係の希薄化、地域活動が盛んではない	4	4.1
警察・消防の活動低下や対応への不信、事件が多い	3	3.1
バリアフリーや道路等の整備不足	3	3.1
格差、差別がある	2	2.1
その他、意見等	17	17.5
凶悪事件がない	1	1.0
	97	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢者・福祉施策、生涯学習・市民講座等の充実	13	21.7
防災、災害対策が充実している	9	15.0
よくなっていると思う、高齢者の様子を見て	7	11.7
地域活動が盛ん、地域内の協力体制、ボランティア活動がある	6	10.0
健診事業、医療体制の整備	5	8.3
意識向上、サポート充実	4	6.7
施設の充実、バリアフリー化	4	6.7
福祉施設やサービスの充実	3	5.0
都市基盤の整備	2	3.3
その他、意見等	5	8.3
多くの人がそこまで達していないなど	2	3.3
	60	100.0

「④どちらかというよくなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
介護・高齢者施策、生涯学習・市民講座等が不十分	4	14.3
市の取り組み内容を見て	4	14.3
検診事業、医療体制が不十分	4	14.3
犯罪が多い	3	10.7
人口減少	2	7.1
自殺者が多い	2	7.1
その他、意見等	9	32.1
	28	100.0

3 取り組みの方向性の傾向（2-1 年齢別／2-2 地域別）

(1) 2-1 誰もが活躍できるまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・30歳代のDIは「現在の状況」「以前との比較」とともに、いずれも、前年度から20ポイントを超える大きな低下となった。
- ・一方で、40歳代以上では上昇しており、年齢層により結果に大きな差異がみられる。
- ・特に60歳代以上は「現在の状況」「以前との比較」とともに、各年のDIがプラスになっており、この世代の実感は良好な状況にあるといえる。

図表Ⅲ-5 2-1 「誰もが活躍できるまちづくり」の状況（年齢別：H23-24年比較）

【現在の状況】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	78	38.5	41.0	▲ 2.5	▲ 9.7
	24年度	74	36.5	48.6	▲ 12.2	
30歳代	23年度	90	40.0	36.7	3.3	▲ 23.3
	24年度	70	24.3	44.3	▲ 20.0	
40歳代	23年度	105	25.7	45.7	▲ 20.0	5.0
	24年度	107	29.0	43.9	▲ 15.0	
50歳代	23年度	116	32.8	42.2	▲ 9.4	5.0
	24年度	114	30.7	35.1	▲ 4.4	
60歳以上	23年度	253	39.1	34.0	5.1	5.1
	24年度	253	41.1	30.8	10.3	

【以前との比較】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	48	45.8	16.7	29.1	▲ 1.1
	24年度	50	40.0	12.0	28.0	
30歳代	23年度	71	46.5	7.0	39.5	▲ 27.6
	24年度	42	26.2	14.3	11.9	
40歳代	23年度	91	36.3	7.7	28.6	1.4
	24年度	90	38.9	8.9	30.0	
50歳代	23年度	105	34.3	16.2	18.1	14.6
	24年度	101	40.6	7.9	32.7	
60歳以上	23年度	234	41.5	10.3	31.2	4.8
	24年度	228	43.4	7.5	36.0	

①29歳以下

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年▲2.5→) ▲12.2 (前年差 ▲9.7ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 29.1→) 28.0 (前年差 ▲1.1ポイント)で、プラス幅がやや縮小

②30 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 3.3→)▲20.0 (前年差 ▲23.3 ポイント)で、大きく低下
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 39.5→) 11.9 (前年差 ▲27.6 ポイント)で、プラス幅が大きく縮小

③40 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲20.0→) ▲15.0 (前年差 5.0 ポイント)で、マイナス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 28.6→) 30.0 (前年差 1.4 ポイント)で、プラス幅が拡大

④50 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲9.4→) ▲4.4 (前年差 5.0 ポイント)で、マイナス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 18.1→) 32.7 (前年差 14.6 ポイント)で、プラス幅が拡大

⑤60 歳以上

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 5.1→) 10.3 (前年差 5.1 ポイント)で、プラス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 31.2→) 36.0 (前年差 4.8 ポイント)で、プラス幅が拡大

■ 30 歳代の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=28)
自治会だけでも盛んに運営されている。
年齢を問わずに参加できるマラソンや障害の方の参加などもできるイベントの企画ができていると思う。
今後の生活に必要な講座が多く開講されている。
障害のボランティアの方が、駄菓子を売っている日がある。
施設が多くなっている。
バリアフリーを増してほしい、歩道のスペースを拡げて欲しい

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=37)
そもそも選択肢がそれほどない。(n=5)
そもそも活動できる場が少なすぎる。(nは同上)
介護施設ばかり増えても…。具体的にどの世代がどんな活躍する場があるの？一部の対象になっていないか？またそれを利用する立場にはなりたくないが…。(nは同上)
バスの乗り降りが、子どもと一緒にの時とても大変。歩道と車道の境界にある少しの段差にベビーカーの車輪がひっかかる。
障害者雇用が全く進んでいない。市で雇用してほしい。
祖父は死の直前(今年3月)、市内の病院から市内のどの介護施設にも移れなかった。最終的に決まった施設は市外だった。
参加しにくいと感じている。

■ 60 歳以上の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=203)
各種学習機会、社会参加の場等が拡充しているように感じる。(n=13) 障害者の方々もパン屋さん等で活躍している。
特に障害のある人の活躍できる場の設定は、多くなってきているように思う。
高齢者でもある程度まで就業可能である。
姪の子どもが2人とも耳が正常で無く生まれたが、補聴器を付けて普通の小学校に通っている。 最初の小学校では断られたそうだが。
私はヘルパーの仕事をやっているので良くなったと思う。
障害のある人もない人も同じです。あいさつをしていくと仲良くなって気にかかる様になって会うと笑顔になる。
町内会に老人会が出来て、助成金を受けている。
地域組織との連携で、きめ細かい施策がすすめられているように思える。
広報のおかげで誰でも参加、活躍できるようになった。
自分自身が携わっているボランティアや、夜のパトロール等をしている時に充実感がある。
少子化、核家族化が進む今、一人住まいの方の手伝いができるようシステムを作る必要がある。
もっと施設を充実してほしい。また住民全体で考えるべき。
生涯学習（体操教室等含）もう少し充実して欲しい。市民健診には感謝している。
市民健診など、住んでいる近くで健診してほしい。

※回答末尾に記載の n 値は 5 以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=95)
病院の充実が、イマイチと感じる。(n=5)
自分の周りに能力があるのに活躍する場がない人がいる。
年配の方が多い割に、その受け入れ先等がなく、一日家に居る人もいる。
高齢者でも元気な人がたくさんいる。ボランティア組織の強化をする等して、活躍出来る場を作ることは、高齢者の健康維持等にも効果があり、一挙両得になると思う。
障害を持つ人たちが活躍している例は、ほとんど見られない。 活躍とまでいかなくても、障害を持つ人も安心して暮らせ、生活を楽しめるような事業の拡大が必要と思う。資料 P 6 にある重点事業をさらに充実させてほしい。
年齢、性別で、現に差別を受けることがある。役所の対応もこれに関して悪い。 障害を持った方を街で見かけない。
誰もが活躍できるという社会状況には今はなっていない。
トヨタ（関東自動車工業）、東京電力等どんどん働く場がなくなり誰もが活躍などともない。
障害者等を積極的に行政で雇用し、町や道路のクリーン化の推進に活用する。
障害者や中高年が働ける場所が少ない。横浜などに比べて福祉活動が活発でない。

(2) 2-2 安全で安心なまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・DIの前年比を地域別（任意の6地域）で見ると、「現在の状況」は、「大津・浦賀」地域以外のすべてで低下した。変動幅は地域によって差がみられ、特に、「衣笠地域」では20ポイント近い大幅な低下となった。
- ・「以前との比較」では、3地域で10ポイントを超える低下となった。特に「西地域」の変動幅が大きく、24年度の調査で唯一、DIがマイナスとなった。

図表Ⅲ-6 2-2「安全で安心なまちづくり」の状況（地域別：H23-24年比較）

【現在の状況】

居住地域	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
追浜・田浦	23年度	78	41.0	38.5	2.6	▲ 11.9
	24年度	75	33.3	42.7	▲ 9.3	
本庁・逸見	23年度	129	53.5	27.1	26.4	▲ 10.2
	24年度	136	45.6	29.4	16.2	
衣笠	23年度	115	41.7	36.5	5.2	▲ 18.7
	24年度	111	30.6	44.1	▲ 13.5	
大津・浦賀	23年度	160	44.4	30.0	14.4	4.3
	24年度	161	49.1	30.4	18.6	
久里浜・北下浦	23年度	139	45.3	33.8	11.5	▲ 14.0
	24年度	163	38.0	40.5	▲ 2.5	
西	23年度	77	40.3	35.1	5.2	▲ 13.8
	24年度	58	34.5	43.1	▲ 8.6	

【以前との比較】

居住地域	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
追浜・田浦	23年度	78	38.4	23.3	15.1	2.8
	24年度	67	34.3	16.4	17.9	
本庁・逸見	23年度	129	42.9	13.4	29.4	▲ 1.2
	24年度	124	40.3	12.1	28.2	
衣笠	23年度	115	40.6	16.0	24.5	▲ 3.5
	24年度	95	36.8	15.8	21.1	
大津・浦賀	23年度	160	47.9	9.6	38.4	▲ 10.8
	24年度	138	45.7	18.1	27.5	
久里浜・北下浦	23年度	139	39.2	14.4	24.8	▲ 12.0
	24年度	141	34.0	21.3	12.8	
西	23年度	77	30.3	15.2	15.2	▲ 17.2
	24年度	48	27.1	29.2	▲ 2.1	

①追浜・田浦

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 2.6→) ▲9.3 (前年差 ▲11.9ポイント)で、マイナスに転換
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 15.1→) 17.9 (前年差 2.8ポイント)で、プラス幅が拡大

②本庁・逸見

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 26.4→) 16.2 (前年差 ▲10.2ポイント)で、プラス幅が大きく縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 29.4→) 28.2 (前年差 ▲ 1.2ポイント)で、プラス幅が縮小

③衣笠

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 5.2→) ▲13.5 (前年差 ▲18.7 ポイント)で、マイナスに転換
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 24.5→) 21.1 (前年差 ▲ 3.5 ポイント)で、プラス幅が拡大

④大津・浦賀

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 14.4→) 18.6 (前年差 4.3 ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 38.4→) 27.5 (前年差 ▲10.8 ポイント)でプラス幅が縮小

⑤久里浜・北下浦

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 11.5→) ▲2.5 (前年差 ▲14.0 ポイント)で、マイナスに転換
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 24.8→) 12.8 (前年差 ▲12.0 ポイント)で、プラス幅が大きく縮小

⑥西

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 5.2→) ▲8.6 (前年差 ▲13.8 ポイント)で、マイナスに転換
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 15.2→) ▲2.1 (前年差 ▲17.2 ポイント)で、マイナスに転換

■ 衣笠地域の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとよくなっている」

主な回答理由 (n=69)
防犯メール等ありがたい。
野比海岸の海岸侵食対策事業が進んでいる。
総合病院が比較的多い。防災対策をしっかりとやっている。
自分の住んでいる地域は安全な方だから。
道路はだいぶきれいになったと思う。
米軍の基地がある為、以前は緊張して歩いた中心街も今は少し気にならなくなった。
基地（自衛隊、米軍）との協調がある。
政治も経済も、環境も落ちついている。
以前と比較しては良くなっているとは思う。しかし現在が良い訳ではない。

※回答末尾に記載の n 値は 5 以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=64)
コンビニ等事件が多発している。(n=10)
米軍基地がある限り、安全で安心なまちとは呼べないのではないかと考えている。(n=6)
中央の辺りの歓楽街は、安全とは言い難い。夜道では、けっこうチカンが出る。(n=5)
横須賀中央駅の周辺が、以前より、キャバクラ等の店が増えて、店の呼び込みの人なども増え、とても夜は歩ける状況ではないと思う。(nは同上)
町内会で夜パトロール等を行っているが、形式的なものでしかない。
公園、コンビニ等で、たむろしている若者が多く怖いと思うことがある。(nは同上)

主な回答理由 (n=64)
通学路は本当に危険な所、多いですよ。現場が分からないのであれば、PTAや保護者達にどんどん直接聞いて下さい。一番よく分かっていますから。京都の事故は他人事ではないです。
自転車やバイクの量が多く、それに対し道幅が狭いので危ない道が多い。
坂が多い割に自転車道が整備されていない。
3.11で核関連の施設があることを知った。生まれてずっと横須賀なのに知る機会がなかった事で安全でも安心でもないと感じている。
・救急医療センターは24時間やっていない。 ・夜中外を歩いていると電灯がついていないところがある。女性は怖い思いをしていると思う。
東日本大震災以降、津波対策が見えてこない。避難方法、津波警報の伝え方など、今、市民が気にしている事の対応に答えるようにしてほしい。
交番に警察官がいない。
警察官の人数も減少され町の安全が確保できない状況になっている。

■ 西地域の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=33)
災害対策に積極的に取り組んでいる。
野比海岸や馬堀海岸など高潮対策が進んでいると思う。
事件を耳にしない。
地域によって差はあるが、いろいろな整備が整っている。
介護施設が増え独居の方へも、手が差し伸べられるようになってきた。

※回答末尾に記載のn値は5以上のもののみ記載

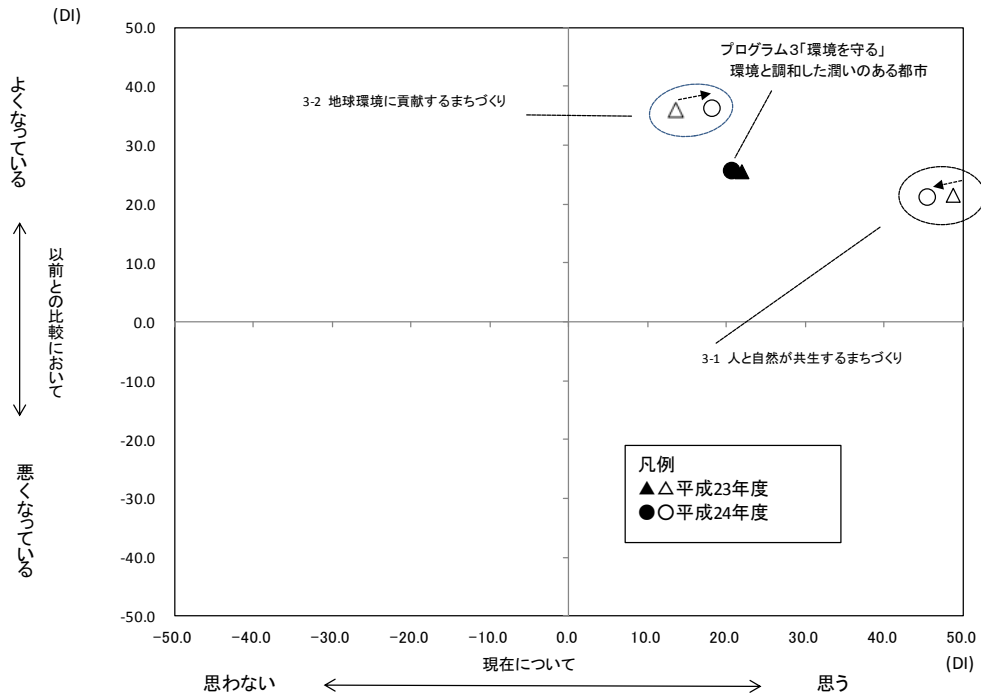
「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=39)
近所でも事件がよく聞かれるようになった。(n=6)
原発関連施設がある。ゴミ処理施設に他からのゴミが入ってきている。
行政ができる範囲以上のものが障害として発生した場合(地震、基地の放射能漏れ等)
地震のあと、色々、不安な場所をテレビで見ると悪くなっていると思う。
介護の仕事をしていたが、バリアフリー対応の道が少ないと思う。 (特に山の上などは、階段が多い)
交通量が多く、通学路での防災対策が無い。
砂浜が減っている、侵食が進んでいることを感じる。崖も多い。
旧住民と新住民との調和が良くない。
車の運転が荒すぎる。もみじマークの人が多。福祉バス等を多くしたらいいのでは?

重点プログラム3 『環境を守る』
～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

1 プログラム3「環境を守る」の傾向

図表Ⅲ－7 重点プログラム3の目的、取り組みの方向性の状況（H23-24年比較）



【現在の状況】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	23年度	716	68.2	19.5	48.7	▲ 3.3
	24年度	727	66.0	20.6	45.4	
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	23年度	666	43.4	29.9	13.5	4.6
	24年度	650	45.7	27.6	18.1	
環境と調和した潤いのある都市	23年度	655	48.2	26.3	21.9	▲ 1.3
	24年度	663	46.9	26.3	20.6	

【以前との比較】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	23年度	641	44.1	22.5	21.6	▲ 0.3
	24年度	631	43.3	22.0	21.3	
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	23年度	584	46.2	10.1	36.1	0.3
	24年度	553	44.7	8.3	36.4	
環境と調和した潤いのある都市	23年度	572	41.2	15.6	25.6	0.2
	24年度	558	40.3	14.5	25.8	

○プログラム3が実現を目指す、「環境と調和した潤いのある都市」の前年比DIの動きには大きな変化はなく、また、DIはすべてのプログラムのなかで最も高く、良好な状況と判断できる。(P4参照)

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 21.9→) 20.6 (前年差 ▲1.3ポイント)で、プラス幅がやや縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 25.6→) 25.8 (前年差 0.2ポイント)で、大きな変化なし

2 取り組みの方向性の傾向(全体)

(1) 3-1 人と自然が共生するまちづくり

「現在の状況」「以前との比較」ともに前年比DIの動きに大きな変化はみられない。各年度のDIは、すべての取り組みの方向性のなかで最も高く、良好な状況を維持していると判断できる。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 48.7→) 45.4 (前年差 ▲3.3ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 21.6→) 21.3 (前年差 ▲0.3ポイント)で、大きな変化なし

【回答理由】

「①思う」「②やや思う」

- ・ 「自然が多い、気候が良い」など本市の自然環境そのものの良さが多く挙げられている。
- ・ 他方、「自然環境の整備・保護、環境政策が進んでいる」など市の取り組みの充実も挙げられている。

「④あまり思わない」「⑤思わない」

「宅地造成、マンション乱立、埋め立てなど開発による自然破壊」が最も多く、その他についても、工事等による自然環境の消失という回答が多くみられる。

(2) 3-2 地球環境に貢献するまちづくり

「現在の状況」「以前との比較」ともに前年比DIのプラス幅が拡大。各年度のDIも高く、良好な状況を維持していると判断できる。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 13.5→) 18.1 (前年差 4.6ポイント)で、プラス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 36.1→) 36.4 (前年差 0.3ポイント)で、大きな変化なし

【回答理由】

「①思う」「②やや思う」

- ・「ごみの分別、リサイクルの徹底」が最も多く挙げられている。
- ・また、「環境施策、取り組みの充実、資料をみて」「自然環境の整備・保護・保全が進んでいる」「環境教育の充実」など市の取り組みの充実が多く挙げられている。

「④あまり思わない」「⑤思わない」

- ・「環境施策、取り組みが不十分」「市の取り組みを知らない」など市の取り組みの不十分さが多く挙げられている。
- ・また、3-1と同様に「宅地造成、マンション乱立、埋め立てなど開発による自然破壊」も挙げられている。

■ 回答理由分類

3-1 人と自然が共生するまちづくり

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自然が多い、気候が良い	74	37.2
自然環境の整備・保護、環境政策が進んでいる、資料をみて	48	24.1
共生していると思う	16	8.0
海、山、公園など自然を身近に感じる、触れ合える機会が多い	11	5.5
公園の整備	9	4.5
他市と比較して	7	3.5
自然を生かした施設や取り組みがある	6	3.0
地域活動が盛ん、地域の協力体制がよい	5	2.5
環境教育の充実	2	1.0
その他、意見等	12	6.0
宅地開発による自然破壊、植えてそのままであるなど	9	4.5
	199	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
宅地造成、マンション乱立、埋め立てなど開発による自然破壊	40	43.5
自然環境の減少、保全が不十分	13	14.1
実感として思えない	7	7.6
自然破壊が進んでいる	6	6.5
海、河川が汚い、ゴミが多い	5	5.4
公園など自然と触れ合える身近な場所、機会が減少している	4	4.3
街路樹の伐採、育成のなさ	3	3.3
公共施設建築に伴う自然破壊	3	3.3
自然が人口的、自然を生かしていない	2	2.2
市の取り組みが不十分	2	2.2
他市と変わらない	1	1.1
その他、意見等	5	5.4
他都市と比較してごみの分別、緑地がなされている	1	1.1
	92	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自然環境の整備・保護、環境政策が進んでいる	30	42.3
よくなっていると思う	11	15.5
自然と触れ合える機会が多い	5	7.0
自然が多い、気候が良い	5	7.0
地域活動やボランティア活動が盛ん、地域の協力体制がよい	4	5.6
公園の整備	4	5.6
ゴミが少なくなった	4	5.6
自然を生かした施設や取り組みがある	1	1.4
環境教育の充実	1	1.4
その他、意見等	4	5.6
宅地開発による自然破壊など	2	2.8
	71	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
宅地造成、マンション乱立、埋め立てなど開発による自然破壊	50	53.2
自然の減少、自然破壊、保全が不十分	24	25.5
公共施設建築に伴う自然破壊	5	5.3
自然が人口的、自然を生かしていない	4	4.3
よくなっていると思わない	2	2.1
海が汚い、ゴミが多い	2	2.1
公園の減少、街路樹の伐採	2	2.1
その他、意見等	5	5.3
	94	100.0

3-2 地球環境に貢献するまちづくり

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
分別、リサイクルの徹底	42	40.8
環境施策、取り組みの充実、資料をみて	18	17.5
自然環境の整備・保護・保全が進んでいる	13	12.6
環境教育の充実	8	7.8
地球環境に貢献するまちだと思う	4	3.9
自然環境がよい、都会でも田舎ない	3	2.9
市民の意識向上、地域活動やボランティア活動が盛ん	2	1.9
その他、意見等	7	6.8
まだまだ改善するところがある、エコ袋の徹底が不十分など	6	5.8
	103	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
環境施策、取り組みが不十分	17	23.0
地球環境に貢献するまちだと思わない、知らない	17	23.0
原子力関係施設や基地がある、放射能への不安	8	10.8
他市と同じ、当然の範囲、特に目立つものがない	5	6.8
市民の意識が低い、モラルの低下	4	5.4
被災地のがれき受け入れ（賛否あり）	4	5.4
自然の減少	3	4.1
宅地造成、マンション乱立、埋め立てなど開発による自然破壊	3	4.1
海、河川が汚くなっている	2	2.7
その他、意見等	10	13.5
ゴミの分別を進めている	1	1.4
	74	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
環境施策、取り組みの充実	15	23.1
よくなっていると思う、他市と比較してよい	15	23.1
分別、リサイクルの徹底	11	16.9
市民の意識向上、地域活動やボランティア活動が盛ん	8	12.3
環境教育の充実	3	4.6
自然が多い	2	3.1
自然環境の整備・保護・保全が進んでいる	2	3.1
不法投棄、街中のゴミの減少	2	3.1
その他、意見等	1	1.5
ゴミが増える、宅地開発が多いなど	6	9.2
	65	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
宅地造成、マンション乱立、埋め立てなど開発による自然破壊	5	27.8
分別がしっかり行われていない、不法投棄が多い	2	11.1
自然の減少	2	11.1
市民の意識が低い、モラルの低下	2	11.1
原子力空母の存在、被災地のがれき受け入れ	2	11.1
その他、意見等	5	27.8
	18	100.0

環境と調和した潤いある都市

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自然が多い	19	19.4
環境と調和した潤いあるまちだと思ふ、他市と比較してよい	18	18.4
自然環境の整備・保護・保全が進んでいる、資料から	17	17.3
環境施策、取り組みが充実している	10	10.2
市民の意識向上、地域活動やボランティア活動が盛ん	5	5.1
自然を生かした施設や取り組みがある	5	5.1
ゴミの分別の徹底	2	2.0
公園の整備	2	2.0
その他、意見等	7	7.1
自然破壊、駅前や街並みを美化すべきなど	13	13.3
	98	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
環境と調和した潤いあるまちだと思わない	11	18.0
宅地造成、マンション乱立、埋め立てなど開発による自然破壊	8	13.1
環境施策、市の取り組みが不十分	7	11.5
自然の減少、空気が汚い	7	11.5
原子力関係施設や基地がある、被災地のがれき受け入れ	5	8.2
市民の意識が低い、モラルの低下	2	3.3
他市と変わらない	2	3.3
海が汚くなっている	2	3.3
その他、意見等	17	27.9
	61	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
よくなっていると思う	16	29.6
環境施策、取り組みの充実	6	11.1
市民の意識向上、地域活動やボランティア活動が盛ん	4	7.4
自然環境の整備・保護・保全がなされている、資料から	4	7.4
分別、リサイクルの徹底	3	5.6
自然を生かした施設や取り組みがある	2	3.7
公園の整備	2	3.7
行政の意識向上	2	3.7
その他、意見等	9	16.7
廃棄物条例を厳しく、3R運動の徹底すべきなど	6	11.1
	54	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
宅地造成、マンション乱立、埋め立てなど開発による自然破壊	10	27.8
自然の減少、自然破壊	9	25.0
よくなっていると思わない	3	8.3
公共施設建築に伴う自然破壊	2	5.6
その他、意見等	12	33.3
	36	100.0

3 取り組みの方向性の傾向（3-1 地域別／3-2 年齢別）

(1) 3-1 人と自然が共生するまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・[大津・浦賀]、[西]地域は、「現在の状況」「以前との比較」とともに前年比DIが上昇した。
- ・一方、[追浜・田浦]地域は、「現在の状況」「以前との比較」とともに20ポイント以上の低下、[本庁・逸見]地域の「現在の状況」も同様に大きく低下した。

図表Ⅲ-8 3-1「人と自然が共生するまちづくり」の状況（地域別：H23-24年比較）

【現在の状況】

居住地域	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
追浜・田浦	23年度	77	67.5	26.0	41.6	▲ 24.9
	24年度	72	51.4	34.7	16.7	
本庁・逸見	23年度	130	70.0	18.5	51.5	▲ 3.4
	24年度	135	65.9	17.8	48.1	
衣笠	23年度	115	68.8	17.0	51.8	▲ 18.1
	24年度	107	60.7	27.1	33.6	
大津・浦賀	23年度	163	55.2	22.6	32.6	21.4
	24年度	163	71.2	17.2	54.0	
久里浜・北下浦	23年度	143	74.8	16.1	58.7	▲ 4.9
	24年度	169	70.4	16.6	53.8	
西	23年度	78	65.4	23.1	42.3	11.9
	24年度	59	69.5	15.3	54.2	

【以前との比較】

居住地域	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
追浜・田浦	23年度	67	46.3	23.9	22.4	▲ 22.4
	24年度	66	31.8	31.8	0.0	
本庁・逸見	23年度	118	41.5	16.1	25.4	8.5
	24年度	118	48.3	14.4	33.9	
衣笠	23年度	103	41.7	22.3	19.4	▲ 4.4
	24年度	93	44.1	29.0	15.1	
大津・浦賀	23年度	148	47.3	27.7	19.6	2.9
	24年度	138	46.4	23.9	22.5	
久里浜・北下浦	23年度	124	50.8	18.5	32.3	▲ 4.6
	24年度	141	45.4	17.7	27.7	
西	23年度	72	30.6	27.8	2.8	10.4
	24年度	53	32.1	18.9	13.2	

①追浜・田浦

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 41.6→) 16.7 (前年差 ▲24.9 ポイント)で、プラス幅が大きく縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 22.4→) 0.0 (前年差 ▲22.4 ポイント)で、大きく低下

②本庁・逸見

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 51.5→) 48.1 (前年差 ▲3.4 ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 25.4→) 33.9 (前年差 8.5 ポイント)で、プラス幅が拡大

③衣笠

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 51.8→) 33.6 (前年差 ▲18.1 ポイント)で、プラス幅が大きく縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 19.4→) 15.1 (前年差 ▲4.4 ポイント)で、プラス幅が縮小

④大津・浦賀

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 32.6→) 54.0 (前年差 21.4 ポイント)で、プラス幅が大きく拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 19.6→) 22.5 (前年差 2.9 ポイント)で、プラス幅が拡大

⑤久里浜・北下浦

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 58.7→) 53.8 (前年差 ▲4.9 ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 32.3→) 27.7 (前年差 ▲4.6 ポイント)で、プラス幅が縮小

⑥西

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 42.3→) 54.2 (前年差 11.9 ポイント)で、プラス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 2.8→) 13.2 (前年差 10.4 ポイント)で、プラス幅が拡大

■ 大津・浦賀地域の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=180)
海も山もあり、大きな公園もある。(n=21)
自然環境がとても気に入っています。他所には行きたくない。(nは同上)
海あり山あり自然が他市より多く、子どもたちにこれを残してあげたいと思う。(nは同上)
自然(山・海)が多く、住みやすいと思う。(nは同上)
年2回外で体操サークルの仲間と歩きで目的地迄行き体操をして戻る。その道すがら公園内は少しずつ整備され、あちこちが様変わりしつつある。(n=7)
平地は少ないが、海岸、丘等の整備が進んでいる。(n=6)
市内には多くの自然がありそれを壊すことなく町づくりをしている。ただ、美術館はあの場所にあった桜や池を失うことになり残念。
海や山が沢山あって楽しい。
学校教育にも反映させる事業と考える。
自然と施設などの関係で両立できる施策が増えているように思う
緑を守り育てると同時に自然の復活。(E X ビオトープ、グリーンカーテンの活発化)

※回答末尾に記載の n 値は 5 以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=61)
山を崩してマンション等を建てて、自然破壊をしていると思う。(n=16)
開発による緑の伐採のみで、育材の為の伐採がない。(nは同上)
丘や山が住宅地にどんどん変わっている。公園もとても人工的。(nは同上)
以前は老人や障害者なども気楽に花見が出来た観音崎の公園に美術館を建ててしまった。なぜあの桜を残す設計が出来なかったのか、今でもあそこを通るたびに悲しくなる。
自然豊かだった三浦半島でしたが、今は人工的な自然ばかりで、為政者のエゴが気になる。
街路樹などをあまりに刈り込みすぎている(防犯上かもしれないが)。例えば、桜などつぼみの時に切ってしまうなど形ばかり整えすぎ。本当の自然と共生とはかけ離れているのでは。
急傾斜地の防災対策が行われた土手は、4～5年前は緑が豊かだった。安全面を考えると難しいが、景観は自然の美しさを失った。
自然が残っている所はいろいろあるが、積極的に共生しているわけではないと思える。
自然と対話出来ていたキャンプ場が減少している。
砂浜の減少等の海に対する事業が見えてこない。
住む人のマナーが悪くなっていると思う。

■ 追浜・田浦地域の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=58)
現に自然が保全され、街も美しく整備されている。
光の丘水辺公園のように三浦半島の小動物、植物の保存と復元につとめているところ。
山あり、海あり、気候よしだが、美しい河川がないのが残念。
実際に首都圏にありながら、いろいろな自然環境を生かそうという動きは見える。もっとそれを生かした博物館や水族館があってもよいのでは。
横須賀は近隣都市に比べ、丘陵・緑は多い。それらとの共生は十分とはいえない。更に進めてほしい。(広大なテーマパーク etc)
野比のあたりに遊歩道等整備途中の所を見た事があるので、色々な面で変化が見られているのではないか。

※回答末尾に記載のn値は5以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=46)
山や土地を削って、住宅やマンションを作りすぎ。自然をもっと残すべき。(n=15)
周囲の山々をくずし(宅地化)、人・自然・共生に疑問。(nは同上)
マンションが立ち並び、緑は減っている。又、緑を増やしているとは思われない。(nは同上)
海岸を埋めたが、緑がない、建物ばかり。
以前美しい桜の山がくずされ、さらに又緑を失っている。
河川が汚い。

(2) 3-2 地球環境に貢献するまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・前年比 DI は、30 歳代以下と 40 歳代以上で評価が分かれ、特に 30 歳代で「現在の状況」「以前との比較」ともに、20 ポイント以上の低下となった。
- ・「以前との比較」の前年比 DI は 30 歳代以下でマイナスとなったが、各年度の DI はすべてプラスで、その値も高く良好な状況にあるといえる。

図表Ⅲ-9 3-2 「地球環境に貢献するまちづくり」の状況（年齢別：H23-24 年比較）

【現在の状況】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	78	44.9	30.8	14.1	1.1
	24年度	79	46.8	31.6	15.2	
30歳代	23年度	93	50.5	29.0	21.5	▲ 23.0
	24年度	68	39.7	41.2	▲ 1.5	
40歳代	23年度	107	30.8	40.2	▲ 9.3	22.9
	24年度	103	37.9	24.3	13.6	
50歳代	23年度	115	45.2	30.4	14.8	9.2
	24年度	121	47.1	23.1	24.0	
60歳以上	23年度	261	45.2	24.5	20.7	2.6
	24年度	258	49.2	26.0	23.3	

【以前との比較】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	51	52.9	9.8	43.1	▲ 14.0
	24年度	55	41.8	12.7	29.1	
30歳代	23年度	79	46.8	7.6	39.2	▲ 26.2
	24年度	46	28.3	15.2	13.0	
40歳代	23年度	96	39.6	9.4	30.2	0.1
	24年度	89	37.1	6.7	30.3	
50歳代	23年度	107	42.1	12.1	29.9	15.5
	24年度	99	52.5	7.1	45.5	
60歳以上	23年度	242	50.0	10.7	39.3	2.2
	24年度	246	48.4	6.9	41.5	

①29 歳以下

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 14.1→) 15.2(前年差 1.1 ポイント)で、大きな変化なし
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 43.1→) 29.1(前年差 ▲14 ポイント)で、プラス幅が縮小

②30 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 21.5→) ▲1.5 (前年差 ▲23.0 ポイント)で、大きく低下
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 39.2→) 13.0 (前年差 ▲26.2 ポイント)で、プラス幅が大きく縮小

③40 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲9.3→) 13.6 (前年差 22.9 ポイント)で、大きく上昇
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 30.2→) 30.0 (前年差 0.1 ポイント)で、大きな変化なし

④50 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 14.8→) 24.0 (前年差 9.2 ポイント)で、プラス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 29.9→) 45.5 (前年差 15.5 ポイント)で、プラス幅が拡大

⑤60 歳以上

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 20.7→) 23.3 (前年差 2.6 ポイント)で、プラス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 39.3→) 41.5 (前年差 2.2 ポイント)で、プラス幅が拡大

■ 30 歳代の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=40)
ゴミの分別、資源回収に関しては進められているように思う。(n=9)
他市と比較してもゴミ(家庭ゴミ)の分別等、リサイクルに力を入れていると思う。(nは同上)
ゴミの出し方にしてもだいぶ良くなってきていると感じる。
以前は収集後でもシールが貼られて収集されないゴミ袋が多かったと思う。(nは同上)
リサイクルに関する教育はされていると感じる。(nは同上)
ゴミの最終処理場があり貢献はしていると思う。
ゴミの分別をきちんとしている人に対し、なにか、特典があると良い。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=35)
町中のタバコポイ捨てがあるし、カラスがゴミを突いている。
山を崩してマンションばかり。
具体的なアピールはされていないけど、何か取り組んでいるのでしょうか？
もっとソーラー発電等を助成した方がよいと思う。
現代の大人の問題
貢献しているかしてないかと言えばしてないと思う。他にはない何かあれば…。(施策がありきたり)
ハイキングコースくらいしか自然が残っていない。無理に山や谷を埋めてマンションを作る必要はない。環境を守れていない以上、貢献できているとはいえない。
休日などの観光客による交通量の増加

■ 60 歳以上の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=246)
ゴミの分別、細分化されたリサイクルへの資源回収が、市民の間に浸透してきている。(n=15) 三浦市との協力によるごみ処理施設が増えればそれは良い方向と思う。(n=5)
ごみの処理施設、減量化、資源のリサイクル化等に熱心に取り組んでいると思う。(nは同上)
上下水道やゴミ収集事業の充実とPRに努力している。
以前は団地からの汚水が海に垂れ流し、汚染されていたが現在は改良されている。
崩壊の場所も多いので廃棄物が放置されていたが、他市に比べると緑地が多いため、危険地区が少なくなってきた。
急傾斜地の崩落防止がコンクリート吹付けから、草が生える工法になってきている。
観音崎の”アマモ”作り
市民の環境問題に関心を高める教育をしてもらっていますね。参加しました。
小学生を対象としたリサイクルプラザ見学は、良き市民になるための知見を得ることができるだろう。
空き地や山の中に大型ごみが捨ててあったが、最近は目につかなくなった。
川がきれいになった。

※回答末尾に記載の n 値は 5 以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

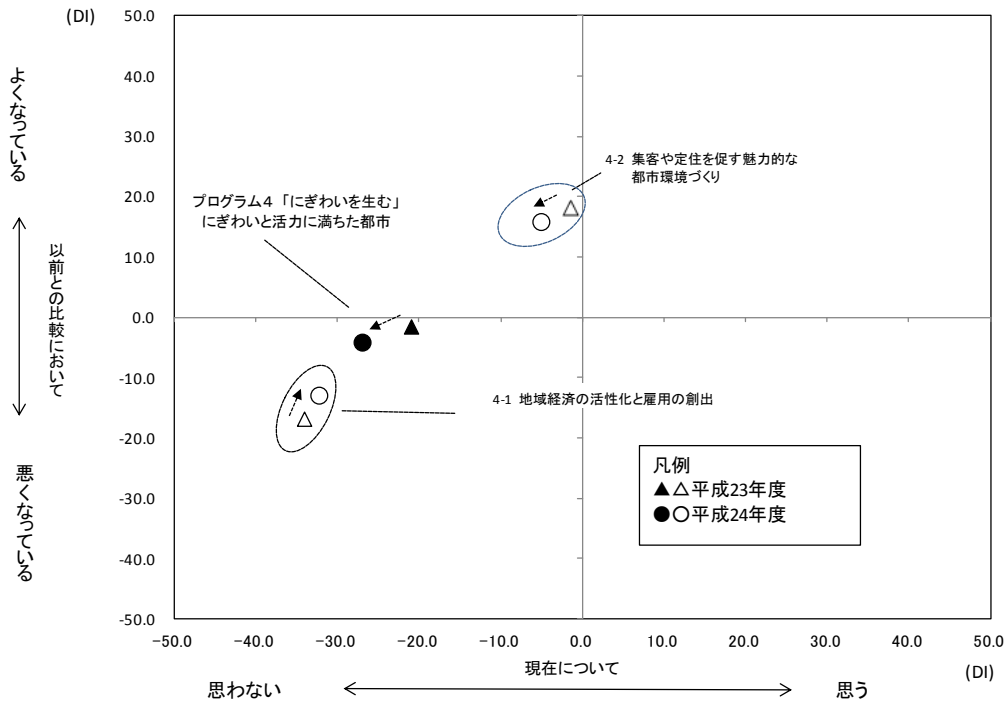
主な回答理由 (n=84)
三浦半島の美しい緑が宅地造成などでけずられている。
横須賀基地の問題、廃棄物場に放射能問題
残念だけど緑が減ってきている。
緑が無くなり、空気も悪く成っている。潮干狩りする場所も無い。
地球温暖化対策などの低炭素社会を構築するというのが、具体策が構築されていない。
各工場の浄化設備、一般家庭における自然エネルギーの活用など、まだ低い状態だから。
自然エネルギー活用をあまり聞かない。
ガレキ処理への協力も出来ないのに、地球環境うんぬんは言えない。
E V タクシーも良いがもっと身近に直接的なものに取り組んでもらいたい。
分別ゴミ収集が細分化したことにより不法投棄が増えている。
ごみの分別収集、減量化・資源化に住民の関心が低く、モラルが低下している。

重点プログラム4 『にぎわいを生む』

～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

1 プログラム4 「にぎわいを生む」の傾向

図表Ⅲ-10 重点プログラム4の目的、取り組みの方向性の状況（H23-24年比較）



【現在の状況】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	23年度	653	20.2	54.3	▲ 34.1	1.8
	24年度	668	21.2	53.5	▲ 32.3	
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な 都市環境づくり	23年度	685	37.0	38.5	▲ 1.5	▲ 3.6
	24年度	686	33.8	38.9	▲ 5.1	
にぎわいと活気に満ちた都市	23年度	705	27.1	48.1	▲ 21.0	▲ 6.0
	24年度	716	24.4	51.4	▲ 27.0	

【以前との比較】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	23年度	595	22.2	39.0	▲ 16.8	3.9
	24年度	577	24.8	37.7	▲ 12.9	
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な 都市環境づくり	23年度	609	38.0	19.7	18.3	▲ 2.4
	24年度	598	35.8	19.9	15.9	
にぎわいと活気に満ちた都市	23年度	629	27.6	29.1	▲ 1.5	▲ 2.6
	24年度	635	29.3	33.4	▲ 4.1	

○プログラム4が実現を目指す、「にぎわいと活力に満ちた都市」の、前年比DIは、「現在の状況」▲6.0ポイント、「以前との比較」▲2.6ポイントといずれも低下した。
また、各年度のDIも、すべてのプログラムのなかで最も低く、厳しい状況にあると判断される。

- ▶「現在の状況」 DIは、(前年 ▲21.0→) ▲27.0 (前年差 ▲6.0ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶「以前との比較」 DIは、(前年 ▲1.5→) ▲4.1 (前年差 ▲2.6ポイント)で、マイナス幅が拡大

2 取り組みの方向性の傾向（全体）

(1) 4-1 地域経済の活性化と雇用の創出

前年比DIは、「現在の状況」「以前との比較」ともに数ポイント増加したものの、各年度のDIは、すべての取り組みの方向性のなかで最も低く、厳しい状況が続いていると判断できる。

- ▶「現在の状況」 DIは、(前年 ▲34.1→) ▲32.3 (前年差 1.8ポイント)で、マイナス幅がやや縮小
- ▶「以前との比較」 DIは、(前年 ▲16.8→) ▲12.9 (前年差 3.9ポイント)で、マイナス幅が縮小

【回答理由】

「①思う」「②やや思う」

- ・「地産地消や企業立地など市の取り組みの充実」が最も多く挙げられた。
- ・また、「イベント、軍港めぐり、土産物などの観光事業の充実」「テレビ、雑誌等メディアで取り上げられ、知名度が上がった」など集客関係の施策の充実が挙げられた。

「④あまり思わない」「⑤思わない」

- ・「働く場や求人が少ない、失業率が高い」「企業が少ない、企業が転出・撤退している」など雇用情勢等の厳しさが多く挙げられた。
- ・また、「商業施設の減少」「商店街の空き店舗の増加」「人口減少、買い物客等の市外への流出」などが多く挙げられ、商業を中心に、地域経済の衰退がイメージされている様子がうかがえる。

(2) 4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

前年比 DI は、「現在の状況」▲3.6 ポイント、「以前との比較」▲2.4 ポイントで、いずれも低下した。一方、各年度の DI については、「以前との比較」はいずれも 15 ポイント以上のプラスとなっており、回復基調にあると判断できる。

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲1.5→) ▲5.1 (前年差 ▲3.6 ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 ▲18.3→) ▲15.9 (前年差 ▲2.4 ポイント)で、マイナス幅が縮小

【回答理由】

「①思う」「②やや思う」

- ・ 「イベント、軍港めぐり、土産物など観光事業の充実」「マイホームへの支援など市の取り組みの充実」など市の取り組みの充実が多く挙げられているほか、「住みやすい、生活に支障がなく便利」「豊かな自然環境」など生活利便性や自然環境の良さが挙げられている。

「④あまり思わない」「⑤思わない」

- ・ 「通勤通学・買い物に不便、利便性がない」「商業施設の減少」「商店街の空き店舗の増加」「人口減少、買い物客等の市外への流出」など生活利便性に対する不満や、商業を中心とした地域経済の衰退を指摘するものが多くみられる。

■ 回答理由分類

4-1 地域経済の活性化と雇用の創出

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
地産地消や企業立地など市の取り組みの充実	25	43.1
イベント、軍港めぐり、土産物などの観光事業の充実	14	24.1
地域経済の活性化と雇用の創出が図られていると思う	4	6.9
テレビ、雑誌等メディアで取り上げられることが多い	3	5.2
活気がある、地域の活性化	2	3.4
基地の存在を生かしている	2	3.4
その他、意見等	7	12.1
雇用が増えたという実感がない	1	1.7
	58	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
働く場や求人が少ない、失業率が高い	55	30.4
企業が少ない、企業が転出・撤退している	34	18.8
商業施設の減少、経済枯渇、産業の減少、国全体の景気の悪化	21	11.6
商店街の空き店舗の増加、地域経済の衰退	19	10.5
市の取り組みの効果が無い、不十分、基地に頼りすぎている	14	7.7
人口減少、買い物客等の市外への流出	7	3.9
地域経済の活性化と雇用の創出が図られていない	7	3.9
まちなにぎわいや活気を感じない	5	2.8
イベントが少ない、PR不足	2	1.1
他市と変わらない	2	1.1
その他、意見等	15	8.3
	181	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
地産地消や企業立地など市の取り組みの充実	14	33.3
イベント、軍港めぐり、土産物などの観光事業の充実	9	21.4
よくなっていると思う	5	11.9
テレビ、雑誌等メディアで取り上げられ、知名度が上がった	3	7.1
活気がある、地域の活性化	2	4.8
新店舗の増加、大型店舗の進出	2	4.8
PR向上	2	4.8
その他、意見等	3	7.1
昔ながらの商店街が寂しい、若者の働く場所がない	2	4.8
	42	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
働く場や求人が少ない、失業率が高い	17	18.5
商店街の空き店舗の増加、地域経済の衰退	17	18.5
商業施設の減少、経済枯渇、産業の減少、国全体の景気の悪化	12	13.0
企業が少ない、企業が転出・撤退している	11	12.0
人口減少、買い物客等の市外への流出	9	9.8
まちなにぎわいや活気を感じない	6	6.5
よくなっていると思わない	4	4.3
不況、社会情勢、国全体の問題	4	4.3
市の取り組みの効果がない、魅力的なイベントがない	2	2.2
その他、意見等	10	10.9
	92	100.0

4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
イベント、軍港めぐり、土産物など観光事業の充実	23	22.1
マイホームへの支援など市の取り組みの充実	13	12.5
マンション、住宅地の開発が進んでいる	9	8.7
集客や定住を促す魅力的な都市環境だと思う	8	7.7
住みやすい、生活に支障がなく便利	6	5.8
街や住環境、生活基盤の整備、美化の推進	6	5.8
観光できる自然や施設がある	6	5.8
豊かな自然環境	5	4.8
都心に近い、通勤等に便利	5	4.8
街が明るく開放的である、地域の活性化がみられる	3	2.9
テレビ、雑誌等メディアで取り上げられることが多い、PR向上	3	2.9
その他、意見等	12	11.5
交通の便が悪い、魅力的なイベントが少ない、PR不足など	5	4.8
	104	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
通勤通学・買い物に不便、利便性がない	16	12.4
集客や定住を促す魅力的な都市環境だと思わない	14	10.9
魅力的な商業施設がない、商店街の衰退	13	10.1
まちに活気がなく、人口、買い物客等が市外に流出している	12	9.3
集客、イベント、企業誘致、定住、子育て施策が不十分	11	8.5
魅力的な観光資源や施設が少ない	9	7.0
観光、集客が弱い、PR不足	5	3.9
税金が高い、不動産や物価等が高い	5	3.9
他市と比較して、魅力や効果がない、遅れている、変わらない	4	3.1
基地や自衛隊の存在	4	3.1
雇用の減少、企業の減少	4	3.1
その他、意見等	32	24.8
	129	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
よくなっていると思う	9	15.8
定住や集客、観光に対する市の取り組みの効果が感じられる	8	14.0
市街地・住宅地の整備、都市基盤の整備が進んでいる	6	10.5
テレビ、雑誌等メディアで取り上げられることが多い、PR向上	5	8.8
イベント、軍港めぐりなどの観光事業の充実	3	5.3
街の美化が進んできた	2	3.5
その他、意見等	16	28.1
イベント情報やアピール不足、保育園の定員が少ないなど	8	14.0
	57	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
人口、買い物客が市外に流出している、雇用の減少、企業の減少	10	23.8
定住につながる施策が不十分、効果がない	7	16.7
商業施設の閉鎖、商店街の衰退	4	9.5
自然の減少、乱開発による自然破壊	4	9.5
環境と調和した潤いあるまちだと思わない	4	9.5
買い物で交通が不便など定住化が進まない	3	7.1
国全体が悪い	2	4.8
その他、意見等	8	19.0
	42	100.0

にぎわいと活力に満ちた都市

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
イベント、軍港めぐり、土産物など観光事業の充実	26	35.1
にぎわいと活力に満ちたまちだと思ふ	11	14.9
まちがにぎやか、人が多いなど活気がある、地域の活性化	6	8.1
地産地消など市の取り組みの充実	6	8.1
魅力的な観光資源や施設がある	5	6.8
テレビ、雑誌等メディアで取り上げられることが多い	2	2.7
魅力的な商業施設がある、商店街がにぎやか	2	2.7
PR向上	2	2.7
その他、意見等	11	14.9
軍港めぐり等の観光費用が高いなど	3	4.1
	74	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
商店街の空き店舗の増加、商業施設の減少、景気が悪い	31	20.4
人口減少、買い物客等が流出している、雇用の減少、企業の減少	23	15.1
中心市街地の空洞化、衰退	20	13.2
まちに活気やにぎわいを感ぜない、暗い、衰退している	18	11.8
にぎわいと活力に満ちたまちだと思わない	11	7.2
集客、定住、子育て施策など市の取り組みが不十分、PR不足	9	5.9
少子高齢化	7	4.6
通勤通学・買い物で交通が不便等、利便性が悪い	6	3.9
イベントが少ない、新しいものがない	4	2.6
地域差がある、市全体ではない	4	2.6
他市と比較して劣っている、変わらない、魅力的なまちではない	3	2.0
魅力的な観光資源、施設が少ない、利点が活かされていない	2	1.3
その他、意見等	14	9.2
産業の活性化に努力がみられる	1	0.7
	152	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
イベント、軍港めぐり、土産物など観光事業の充実	19	32.2
まちがにぎやか、人が多いなど活気がある、地域の活性化	9	15.3
よくなっていると思う	5	8.5
環境や交通、都市基盤の整備	4	6.8
テレビ、雑誌等メディアで取り上げられることが多い	3	5.1
大型店舗の増加、商店街の空き店舗の減少	2	3.4
魅力的な観光施設がある	2	3.4
その他、意見等	10	16.9
PR不足、どれも中途半端、特性を生かしていないなど	5	8.5
	59	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
商店街の空き店舗の増加、商業施設の閉鎖・減少、景気が悪い	32	37.2
人口減少、買い物客等が市外に流出している、企業の減少	14	16.3
中心市街地の空洞化、衰退	12	14.0
よくなっていると思わない	6	7.0
まちににぎわいや活気を感じない、人出の減少	5	5.8
少子高齢化	4	4.7
市の取り組みが不十分、施策が目先のことだけである	2	2.3
にぎわいが一部の地域に集中している	2	2.3
その他、意見等	9	10.5
	86	100.0

3 取り組みの方向性の傾向（4-1 職業別／4-2 年齢別）

（1）4-1 地域経済の活性化と雇用の創出

【調査結果のポイント】

- ・職業別で、DI の前年比をみると、「現在の状況」「以前との比較」とともにマイナスになったのは、[自営業、自由業（農林水産業を含む）]で、特に、「以前との比較」で 30 ポイントを超える大きな低下となった。
- ・これを除き、職業別のすべての項目で、前年比の DI はマイナス幅に縮小傾向がみられるが、各年度の DI はすべてマイナスで、実感は依然として得られていない状況にある。

図表Ⅲ-11 4-1 「地域経済の活性化と雇用の創出」の状況（職業別：H23-24 年比較）

【現在の状況】

職業	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
自営、自由業(農林漁業を含む)	23年度	21	23.8	52.4	▲ 28.6	▲ 18.8
	24年度	38	18.4	65.8	▲ 47.4	
会社員・公務員	23年度	205	20.0	59.5	▲ 39.5	2.6
	24年度	206	18.4	55.3	▲ 36.9	
アルバイト・パートタイマー・派遣社員	23年度	102	17.6	61.8	▲ 44.1	15.9
	24年度	92	23.9	52.2	▲ 28.3	
家事専業	23年度	114	23.7	45.6	▲ 21.9	▲ 4.7
	24年度	109	22.0	48.6	▲ 26.6	
無職	23年度	153	19.0	49.0	▲ 30.1	1.3
	24年度	160	23.8	52.5	▲ 28.8	
学生・その他	23年度	49	24.5	51.0	▲ 26.5	2.6
	24年度	46	23.9	47.8	▲ 23.9	

【以前との比較】

職業	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
自営、自由業(農林漁業を含む)	23年度	21	33.3	42.9	▲ 9.5	▲ 30.5
	24年度	35	20.0	60.0	▲ 40.0	
会社員・公務員	23年度	185	21.6	40.0	▲ 18.4	0.1
	24年度	170	20.6	38.8	▲ 18.2	
アルバイト・パートタイマー・派遣社員	23年度	89	18.0	47.2	▲ 29.2	26.6
	24年度	77	26.0	28.6	▲ 2.6	
家事専業	23年度	104	24.0	36.5	▲ 12.5	4.9
	24年度	92	28.3	35.9	▲ 7.6	
無職	23年度	145	22.1	34.5	▲ 12.4	0.4
	24年度	150	26.7	38.7	▲ 12.0	
学生・その他	23年度	44	25.0	36.4	▲ 11.4	5.6
	24年度	35	28.6	34.3	▲ 5.7	

①自営、自由業（農林漁業を含む）

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲28.6→) ▲47.4 (前年差 ▲18.8 ポイント)で、マイナス幅が大きく拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 ▲9.5→) ▲40.0 (前年差 ▲30.5 ポイント)で、マイナス幅が大きく拡大

②会社員・公務員

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲39.5→) ▲36.9 (前年差 2.6 ポイント)で、マイナス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 ▲18.4→) ▲18.2³ (前年差 0.1⁴ポイント)で、マイナス幅がやや縮小

③アルバイト・パートタイマー・派遣社員

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲44.1→) ▲28.3 (前年差 15.9 ポイント)で、マイナス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 ▲29.2→) ▲2.6 (前年差 26.6 ポイント)で、マイナス幅が大きく縮小

④家事専業

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲21.9→) ▲26.6 (前年差 ▲4.7 ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 ▲12.5→) ▲7.6 (前年差 4.9 ポイント)でマイナス幅が縮小

⑤無職

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲30.1→) ▲28.8 (前年差 1.3 ポイント)で、マイナス幅がやや縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 ▲12.4→) ▲12.0 (前年差 0.4 ポイント)で、大きな変化なし

⑥学生・その他

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲26.5→) ▲23.9 (前年差 2.6 ポイント)で、マイナス幅がやや縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 ▲11.4→) ▲5.7 (前年差 5.6 ポイント)で、マイナス幅が縮小

■ 自営業、自由業（農林水産業を含む）の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=14)
いろいろなイベントがあり地域の活性があると思うが雇用は心配。
軍港めぐりやカレーフェスティバル等のイベントが良い。
地産地消の推進が活発化
企業誘致に積極的
市長が積極的に地域に出ている。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=46)
潰れた商店や、シャッターの閉まった店が多くなったと思う。地域経済は活性化しているとは言いがたい。
新規参入企業がない。
企業誘致が上手でない。
地域経済の活性化と雇用の創出を図る為の基本的要素が欠如しているのではないか。
平成町の広場で月1回位の市の主催で開催すれば産業祭よりもにぎやかになるではないか。
産業が見あたらない。北久里浜に工業地帯を誘致すべき。
仕事をするには横浜、東京へ行かないと低賃金で困る。

■ アルバイト・パートタイマー・派遣社員の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=42)
地産地消はわりとうまくいっているのでは。例にすかなごっそ。
雇用についてはよくわからない。
最近では、カレーの街や軍港めぐりに人気が出てきている。
“花の国” 週辺をみると会社があり工場があり努力しているのだと思う。
久里浜だったか、コロワイドグループの大きな工場を誘致した件。雇用につながっていると思う。
特別、雇用が増えたという実感がない。
個人商店やデパート等がなくなってきて地元の人たちも、横浜方面へ買い物に行く。もう少し商業施設の目玉がほしい。
名産のアピールを含め以前より媒体への露出も多くみられるが、もう一歩感がある。

「④あまり思わない、どちらかというとも悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=70)
市内で働きたくても、働く場が少なすぎる。市外で働いている。(n=10)
仕事もないし給料も低い。(nは同上)
バイトの求人を見ても横須賀は少ない。(nは同上)
企業数が少なく、地元の商店街はシャッター通り化が進んでいる。
デパート、西友など終店等
派遣社員・契約社員が多く格差が大きい。(正社員との)
他都道府県からの雇用が多い気がする。
大胆な施策が取られてないため右肩下り。
特に経済の活性化を促進する魅力的な建物が少ない。アウトレットなどができたら、他の地方の方が来たり、就職先が多くなる。
大型の専門店が多くなれば、小規模商店はその波を受ける。街が活性できないと思うが。
催しものよりも、もっと企業誘致を進める施策を考えてもらいたい。誘致を進めているのか？
活性化が身近に感じられない。

※回答末尾に記載のn値は5以上のもののみ記載

(2) 4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

【調査結果のポイント】

- ・前年比 DI は、30 歳代で「現在の状況」「以前との比較」とともに大きく低下した。一方、29 歳以下では上昇しており、評価が分かれる結果となった。
- ・「以前との比較」では、30 歳代、50 歳代の前年比の DI はマイナスとなったが、各年度の DI はすべてプラスで、その値も 10 ポイントを超えており、ある程度の実感は得られているとみることができる。

図表Ⅲ-12 4-2 「集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」の状況（年齢別：H23-24 年比較）

【現在の状況】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	77	37.7	42.9	▲ 5.2	9.1
	24年度	77	41.6	37.7	3.9	
30歳代	23年度	100	55.0	29.0	26.0	▲ 24.8
	24年度	80	40.0	38.8	1.3	
40歳代	23年度	115	36.5	40.0	▲ 3.5	▲ 1.0
	24年度	111	34.2	38.7	▲ 4.5	
50歳代	23年度	118	33.9	39.0	▲ 5.1	6.7
	24年度	121	38.0	36.4	1.7	
60歳以上	23年度	264	31.8	40.2	▲ 8.3	▲ 4.0
	24年度	276	28.3	40.6	▲ 12.3	

【以前との比較】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	57	42.1	19.3	22.8	0.9
	24年度	59	44.1	20.3	23.7	
30歳代	23年度	88	54.5	13.6	40.9	▲ 19.1
	24年度	55	38.2	16.4	21.8	
40歳代	23年度	96	33.3	21.9	11.5	4.0
	24年度	97	35.1	19.6	15.5	
50歳代	23年度	116	35.3	19.0	16.4	▲ 1.1
	24年度	105	38.1	22.9	15.2	
60歳以上	23年度	244	34.4	21.7	12.7	1.3
	24年度	265	33.6	19.6	14.0	

①29 歳以下

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲5.2→) 3.9 (前年差 9.1 ポイント) で、プラスに好転
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 22.8→) 23.7 (前年差 0.9 ポイント) で、大きな変化なし

②30 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 26.0→) 1.3 (前年差 ▲24.8 ポイント)で、プラス幅が大きく縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 40.9→) 21.8 (前年差 ▲19.1 ポイント)で、プラス幅が大きく縮小

③40 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲3.5→) ▲4.5 (前年差 ▲1.0 ポイント)で、マイナス幅がやや拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 11.5→) 15.5 (前年差 4.0 ポイント)で、プラス幅が拡大

④50 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲5.1→) 1.7 (前年差 6.7 ポイント)で、プラスに好転
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 16.4→) 15.2 (前年差 ▲1.1 ポイント)で、プラス幅がやや縮小

⑤60 歳以上

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 ▲8.3→) ▲12.3 (前年差 ▲4.0 ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 12.7→) 14.0 (前年差 1.3 ポイント)で、プラス幅がやや拡大

■ 20 歳代の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=43)
海や公園など遊べる場所もたくさんあるし、イベントも色々やっている。
猿島でBBQができたり軍港めぐりができたり、横須賀ならではの良さが以前よりも増えたと思う。TVでも紹介されることも最近増えたと思う。
集客は出来ているが定住についてはあまり変化が無いように思う。
軍港めぐりなどよくマスコミに取り上げられている。
インフラも教育も自然もすべて揃っている。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=35)
不便だから思わない。年寄りには大変な町だと思う。
どこに行くにも不便すぎる。
大きなデパートが減って、買物ができない。
横須賀中央を見てのとおり全く活気がない。ショッピングモール等の大型施設があると良いと思う。
全国的には、横須賀の名所が知れ渡っていない。
イベントがあっても駐車場が少ないと思う。
バスの便が少なすぎるし、横須賀線も乗り次ぎが悪くて使いづらい。
人が集まるショッピングセンターなどの影響で、車を使用しないと不便な環境になっている。
相次ぐ店舗の閉店、老朽化、時代にあった町づくりが必要。

■ 30 歳代の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=53)
・カレーなどの名物や色々なイベントで集客できていると思う。(n=5) ・見晴らしの良いところに住宅をつくるなどの取り組みができていると思う。
集客イベント、住民誘致、住宅取得支援に力を入れていると思う。
ファーストマイホーム制度が良かった。 定住するにあたって市外から引っ越してくる際に色々助成金をいただいた。 が、集客に関しては進んでいるのかわからない。
定住は促せてない。やはり観光地っぽい。
・イベント多いと思う。海、山、猿島、観光スポットも多いと思う。 ・都内までの便も良いので、住みやすい。
観光地、生活地の住み分けができていると思う。
色々な補助がある。
都会から近いという点を、もっと打ち出すべき。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=40)
米軍基地以外の特徴は感じない。
マンションの建設が進んで定住はあるかもしれないが、魅力は少ない。
はっきり言って魅力がない。
環境はいいがずっと住みたいと思えるほどの魅力はない。街が汚い。
以前は横浜のど真ん中に住んでいました(西区)。横須賀に来て、中央に行ってもつまらなくて、ホームシックになり泣きました。 横須賀市には何も無い。横須賀の女のコはどこで洋服やクツを買っているの？
安住を求めるなら保育園が少ないと思う。就労する人が増えている中、定員数の少ない園が多くなかなか難しい状況ではないか。
市民に対して厳しいから定住しないのだと思う。税金高い。
長く住めば、特典がつくような制度がない。もう少し市民を大切にすることで、ロコミではないが集客にもつながる。
企業の誘致はおろか撤退されてしまい、より悪化している。YRPも市外の人が多いし定住にはつながっていない。
浦賀港周辺地区再整備があるが、少しイベントがあるだけで、海はほとんど見えず不要なドッグがあるだけで全く魅力的でない。
他県からあまり観光に来たいとは言われない。目玉がないから？
職場が横須賀市でなければ、職場に近いところへ引っ越しする方が多いと思う。
一部の活性化で全体にいきわたらない。

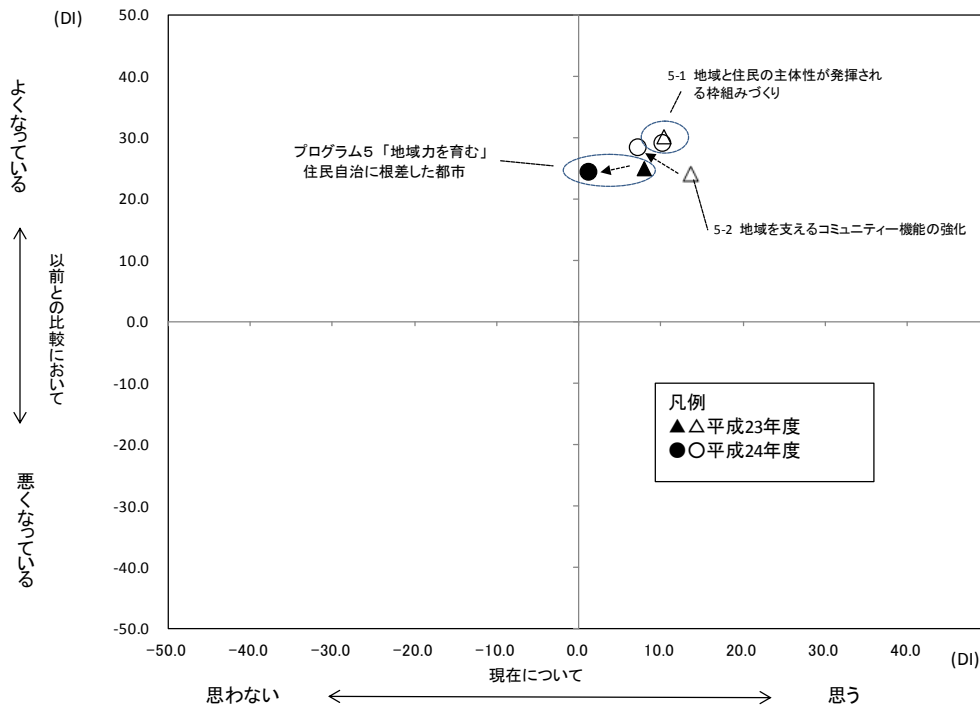
重点プログラム5 『地域力を育む』

～地域と住民の主体性が発揮できる枠組みづくり

・地域を支えるコミュニティー機能の強化～

1 プログラム5「地域力を育む」の傾向

図表Ⅲ-13 重点プログラム5の目的、取り組みの方向性の状況（H23-24年比較）



【現在の状況】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
(5-1) 地域と住民の主体性が 発揮される枠組みづくり	23年度	599	40.8	30.5	10.3	▲ 0.2
	24年度	597	39.9	29.8	10.1	
(5-2) 地域を支えるコミュニティー機能の 強化	23年度	630	42.0	28.4	13.6	▲ 6.5
	24年度	625	39.8	32.7	7.1	
住民自治に根差した都市	23年度	586	39.6	31.7	7.9	▲ 6.8
	24年度	602	34.5	33.4	1.1	

【以前との比較】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
(5-1) 地域と住民の主体性が 発揮される枠組みづくり	23年度	516	39.1	8.9	30.2	▲ 1.0
	24年度	514	38.7	9.5	29.2	
(5-2) 地域を支えるコミュニティー機能の 強化	23年度	536	36.2	12.0	24.2	4.3
	24年度	532	39.8	11.3	28.5	
住民自治に根差した都市	23年度	503	35.4	10.4	25.0	▲ 0.5
	24年度	512	34.4	9.9	24.5	

○プログラム5が実現を目指す、「住民自治に根差した都市」の前年比DIの動きは、「以前との比較」に大きな変化はないものの、各年度のDIは20ポイントを超えており、ある程度の実感は得られているものとみることができる。

一方で、「現在の状況」は6.8ポイント低下し、各年度のDIも10ポイント以下であることから、全体として、政策に対する実感は低下傾向にあると判断される。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 7.9→) 1.1 (前年差 ▲6.8ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 25.0→) 24.5 (前年差 ▲0.5ポイント)で、大きな変化なし

2 取り組みの方向性の傾向（全体）

(1) 5-1 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり

- ・前年比DIは、「現在の状況」「以前との比較」とともに大きな変化はみられない。
- ・各年のDIはすべてプラスで、良い状態を維持していると判断できる。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 10.3→) 10.1 (前年差 ▲0.2ポイント)で、大きな変化なし
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 30.2→) 29.2 (前年差 ▲1.0ポイント)で、大きな変化なし

【回答理由】

「①思う」「②やや思う」

- ・「自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん」であることが最も多く挙げられている。
- ・これ以外では、「自治基本条例など市の取り組みの充実」など市の取り組みが進められていることが挙げられている。

「④あまり思わない」「⑤思わない」

- ・「市の取り組みが不十分、PR不足」など市の取り組み不足が挙げられている。
- ・これ以外では「活動の縮小、地域力の衰退」「地域住民の連携不足、他者との関わりが希薄、無関心な人が多い」など地域の現状を指摘する回答も多くみられる。

(2) 5-2 地域を支えるコミュニティ機能の強化

- ・前年比DIは「現在の状況」で6.5ポイント低下したものの、「以前との比較」では4.3ポイント上昇し、評価が分かれる結果となった。
- ・各年度のDIはプラスで良好な状態を維持しているが、全体としては低下傾向にあると判断される。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 13.6→) 7.1 (前年差 ▲6.5ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 24.2→) 28.5 (前年差 ▲4.3ポイント)で、プラス幅が拡大

【回答理由】

「①思う」「②やや思う」

- ・「自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん」「地域が団結している、地域のつながりが強い」など地域の現状を踏まえたことが多く挙げられている。
- ・これ以外では、「コミュニティセンターの設置、活用、施設の増加」など市の取り組みが進められている」が挙げられている。

「④あまり思わない」「⑤思わない」

- ・「市の取り組みが不十分、PR不足」「市と地域の連携が弱い、市の姿勢が積極的ではない」など市の取り組みの不足感が挙げられている。
- ・また、「活動の縮小、地域力の衰退」「地域住民の連携不足、他者との関わりが希薄、無関心な人が多い」など地域の現状を挙げる回答も多くみられる。

■ 回答理由分類

5-1 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん	50	60.2
進められていると思う	8	9.6
市の取り組みの充実、市政に地域の声が反映されている	3	3.6
市民団体や活動する人が増えた、意識が向上した	3	3.6
コミュニティセンターの設置、活用	2	2.4
本市民アンケートに参加している	2	2.4
街や公園がきれい、清掃が行き届いている	2	2.4
その他、意見等	7	8.4
ボランティアに頼りすぎ、若年者には重い、主体性がないなど	6	7.2
	83	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
市の取り組みが不十分、PR不足	12	16.7
進められていると思わない	9	12.5
非活性、温度が低い、活動の縮小・狭小、地域力の衰退	9	12.5
地域住民の連携不足、他者との関わりが希薄、無関心な人が多い	7	9.7
一部の人たちの取り組みになっている、意見が通らない	7	9.7
住民の主体性を感じない、地域差がある	5	6.9
市と地域の連携が弱い、市の姿勢が積極的ではない	4	5.6
少子高齢化の進展による活動の衰退、若い人の参加が少ない	3	4.2
一体的な活動が負担にもなっている	2	2.8
基地がある	2	2.8
その他、意見等	12	16.7
	72	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん	16	36.4
自治基本条例など市の取り組みの充実	6	13.6
よくなっていると思う	5	11.4
活動する人が増えた、意識が向上した	3	6.8
その他、意見等	11	25.0
若年者の参加が少ない、町内会内が非統制で活動が進まないなど	3	6.8
	44	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
市の取り組みが後手、フォローがない、PR不足	5	26.3
よくなっていると思わない	4	21.1
住民の主体性を感じない	2	10.5
無関心な人が多い	2	10.5
その他、意見等	6	31.6
	19	100.0

5-2 地域を支えるコミュニティー機能の強化

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん	28	36.8
地域を支えるコミュニティー機能が強化されていると思う	13	17.1
コミュニティーセンターの設置、活用、施設の増加	12	15.8
地域が団結している、地域のつながりが強い	7	9.2
防災メールなど市の取り組みの充実	5	6.6
その他、意見等	4	5.3
コミュニケーションの減少、経済的余裕がないと無理など	7	9.2
	76	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
地域を支えるコミュニティー機能が強化されていると思わない	15	19.7
市の取り組みが不十分	12	15.8
役員や一部の人たちの取り組みになっている	8	10.5
非活性、温度が低い、活動の縮小・狭小	8	10.5
地域住民の連携がない、他者との関わりが希薄になっている	7	9.2
地域差がある	5	6.6
少子高齢化の進展による活動の衰退、若年者の参加が少ない	5	6.6
無関心な人が多い	2	2.6
その他、意見等	13	17.1
行政センターからのお知らせが届く	1	1.3
	76	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自治会、クリーン活動など地域主体活動が盛ん	15	26.3
よくなっていると思う	10	17.5
行政が協力的になった、取り組みの充実	8	14.0
コミュニティセンターの設置、活用、充実	5	8.8
活動する人が増えた、意識が向上した	2	3.5
その他、意見等	6	10.5
自分勝手な人が多くなったなど	2	3.5
	48	84.2

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
少子高齢化の進展による活動の衰退、若年者の参加が少ない	5	20.0
よくなっていると思わない	4	16.0
無関心な人が多い	4	16.0
地域住民の連携がない、他者との関わりの希薄化	3	12.0
市の方針に具体性がない、広報発行回数減による地域連携衰退	2	8.0
一部の人たちの取り組みになっている	2	8.0
その他、意見等	4	16.0
行政センターからのお知らせが届く	1	4.0
	25	100.0

住民自治に根差した都市

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自治会、防災訓練、クリーン活動など地域主体活動が盛ん	24	40.0
住民自治に根差したまちだと思ふ	9	15.0
支援、助成の充実、市政に地域の声が反映されている	7	11.7
市民団体や活動する人が増えた、意識が向上した	4	6.7
地域が団結している、地域のつながりが強い	3	5.0
その他、意見等	7	11.7
町内会の活動が不透明、新旧住民の間が縮まらないなど	6	10.0
	60	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
住民自治に根差したまちだと思わない	15	22.4
非活性、地域の活動情報が入らない、不透明	8	11.9
市の取り組みが不十分	7	10.4
少子高齢化の進展による活動の衰退、若年者の参加が少ない	7	10.4
行政と地域の連携が弱い	5	7.5
役員や一部の人たちの取り組みになっている	4	6.0
地域住民の連携がない	4	6.0
住民の主体性を感じない、行政主導	3	4.5
他市と変わらない	3	4.5
地域差がある、市全体ではない	2	3.0
基地の存在	2	3.0
その他、意見等	7	10.4
	67	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん	9	24.3
よくなっていると思う	9	24.3
市の取り組みの充実、協力体制の向上	6	16.2
意識が向上した、活性化してきた	2	5.4
その他、意見等	9	24.3
行事参加定数が少ない、活動力の地域格差がある	2	5.4
	37	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
地域内住民同士の関わりが希薄になっている、	5	31.3
少子高齢化の進展による活動の衰退、若年者の参加が少ない	4	25.0
非活性、形骸化	3	18.8
その他、意見等	4	25.0
	16	100.0

3 取り組みの方向性の傾向（5-1 地域別／5-2 年齢別）

(1) 5-1 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり

【調査結果のポイント】

- ・DIの前年比を地域別（任意の6地域）でみると、「現在の状況」でDIが上昇したのは[大津・浦賀]地域のみで、他の地域はすべて低下した。
- ・「現在の状況」「以前との比較」とともに低下した地域は[本庁・逸見][久里浜・北下浦][西]の3地域だが、各年度のDIがマイナスとなったのは、[西]地域のみという結果になった。

図表Ⅲ-14 5-1 「地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり」の状況（地域別：H23-24年比較）

【現在の状況】						
居住地域	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
追浜・田浦	23年度	63	41.3	28.6	12.7	▲ 9.3
	24年度	59	37.3	33.9	3.4	
本庁・逸見	23年度	111	41.4	27.9	13.5	▲ 6.2
	24年度	109	36.7	29.4	7.3	
衣笠	23年度	100	40.0	31.0	9.0	▲ 6.7
	24年度	87	36.8	34.5	2.3	
大津・浦賀	23年度	139	40.3	28.1	12.2	21.8
	24年度	135	53.3	19.3	34.1	
久里浜・北下浦	23年度	116	46.6	32.8	13.8	▲ 8.0
	24年度	137	36.5	30.7	5.8	
西	23年度	61	29.5	41.0	▲ 11.5	▲ 0.1
	24年度	52	30.8	42.3	▲ 11.5	

【以前との比較】						
居住地域	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
追浜・田浦	23年度	49	40.8	10.2	30.6	5.9
	24年度	52	38.5	1.9	36.5	
本庁・逸見	23年度	95	37.9	6.3	31.6	▲ 7.9
	24年度	93	34.4	10.8	23.7	
衣笠	23年度	91	36.3	12.1	24.2	0.2
	24年度	78	39.7	15.4	24.4	
大津・浦賀	23年度	125	44.0	8.0	36.0	4.5
	24年度	116	47.4	6.9	40.5	
久里浜・北下浦	23年度	98	39.8	6.1	33.7	▲ 2.4
	24年度	112	40.2	8.9	31.3	
西	23年度	51	33.3	15.7	17.6	▲ 7.4
	24年度	49	24.5	14.3	10.2	

①追浜・田浦

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 12.7→) 3.4 (前年差 ▲9.3ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 30.6→) 36.5 (前年差 5.9ポイント)で、プラス幅が拡大

②本庁・逸見

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 13.5→) 7.3 (前年差 ▲6.2 ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 31.6→) 23.7 (前年差 ▲7.9 ポイント)で、プラス幅が縮小

③衣笠

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 9.0→) 2.3 (前年差 ▲6.7 ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 24.2→) 24.4 (前年差 0.2 ポイント)で、大きな変化なし

④大津・浦賀

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 12.2→) 34.1 (前年差 21.8 ポイント)で、プラス幅が大きく拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 36.0→) 40.5 (前年差 4.5 ポイント)で、プラス幅が拡大

⑤久里浜・北下浦

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 13.8→) 5.8 (前年差 ▲8.0 ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 33.7→) 31.3 (前年差 ▲2.4 ポイント)で、プラス幅が縮小

⑥西

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲11.5→) ▲11.5³ (前年差 0.1 ポイント)で、ほぼ変化なし
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 17.6→) 10.2 (前年差 ▲7.4 ポイント)で、プラス幅が縮小

■ 西地域の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=28)
各町内でクリーンよこすか活動がある。
朝、夕、見守り隊が子どもを指導している。
地域のコミュニティーは、わりと充実していると思う。
年寄りが強い…が逆を返せば若い人の意見は通りづらい。
息子は障害を持っているが、触れ合いフェスティバルなど開いて頂く。
地域の事を考え前向きに行動する人たちが多くなった。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=29)
地域の人同士の関係性が薄い。
よそ者には(特にアパート住まい)には交流がない、声がかからない。
住民にはよく知られていない。
何かを決定してから説明していると思う。
子ども見守り隊などない。
年々悪くなっている。
まわりを見ていもお年寄りが多く、段々とやめていく取り組みが多い。

(2) 5-2 地域を支えるコミュニティ機能の強化

【調査結果のポイント】

- ・「現在の状況」「以前との比較」の前年比 DI がいずれも上昇したのは「40 歳代」のみとなった。一方、30 歳代は、「現在の状況」「以前との比較」ともに、10 ポイント以上低下し、30 歳代と 40 歳代で、評価が大きく分かれる結果となった。
- ・各年度の DI では、高齢層でその割合が高く、マイナスとなったのは、「現在の状況」の 30 歳代のみであった。

図表Ⅲ-15 5-2 「地域を支えるコミュニティ機能の強化」の状況（年齢別：H23-24 年比較）

【現在の状況】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	70	42.9	31.4	11.4	▲ 9.9
	24年度	66	37.9	36.4	1.5	
30歳代	23年度	81	40.7	35.8	4.9	▲ 21.4
	24年度	67	25.4	41.8	▲ 16.4	
40歳代	23年度	98	37.8	32.7	5.1	5.1
	24年度	98	40.8	30.6	10.2	
50歳代	23年度	116	40.5	26.7	13.8	▲ 0.5
	24年度	113	40.7	27.4	13.3	
60歳以上	23年度	255	44.7	24.3	20.4	▲ 8.2
	24年度	262	43.9	31.7	12.2	

【以前との比較】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	44	29.5	18.2	11.4	9.1
	24年度	44	31.8	11.4	20.5	
30歳代	23年度	65	32.3	16.9	15.4	▲ 13.3
	24年度	47	25.5	23.4	2.1	
40歳代	23年度	81	28.4	13.6	14.8	3.1
	24年度	78	34.6	16.7	17.9	
50歳代	23年度	101	26.7	12.9	13.9	21.1
	24年度	100	43.0	8.0	35.0	
60歳以上	23年度	238	45.4	8.8	36.6	▲ 1.3
	24年度	247	44.1	8.9	35.2	

①29 歳以下

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 11.4→) 1.5 (前年差 ▲9.9 ポイント) で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 11.4→) 20.5 (前年差 9.1 ポイント) で、プラス幅が拡大

②30 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 4.9→) ▲16.4 (前年差 ▲21.4 ポイント) で、マイナスに転換
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 15.4→) 2.1 (前年差 ▲13.3 ポイント) で、プラス幅が縮小

③40 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 5.1→) 10.2 (前年差 5.1 ポイント)で、プラス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 14.8→) 17.9 (前年差 3.1 ポイント)で、プラス幅が拡大

④50 歳代

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 13.8→) 13.3 (前年差 ▲0.5 ポイント)で、大きな変化なし
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 13.9→) 35.0 (前年差 21.1 ポイント)でプラス幅が大きく拡大

⑤60 歳以上

- ▶ 「現在の状況」 DI は、(前年 20.4→) 12.2 (前年差 ▲8.2 ポイント)で、プラス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DI は、(前年 36.6→) 35.2 (前年差 ▲1.3 ポイント)で、プラス幅がやや縮小

■ 30 歳代の具体的な回答理由

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=29)
コミセンでの催しが広報に載っていて利用しやすい。
時間の延長、場所の拡大がされていると思う。
行政センターなどは誰にとっても良い情報源だと思う。
活動を報告したり参加者を募集したりする場や媒体が確保されていると思う。
・ 防災メールは、他県の人からもうらやましがられている。 ・ 隣人とのコミュニケーションは減っている。
地域によって違いがありそう。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=39)
賃貸の1人暮らしでは、そのコミュニティーに入ることは想定されているとは思えないという実感がある。
どこのどなたがやっているのでしょうか？何も見えないのにねえ…。
孤独死は聞かないが、団地の自治会などは役目を果たせていない。
マンションが多く、他人を気にしなさ過ぎると感じる。
今の団塊の方々が、このまま活動していけなくなると、地域を支えるコミュニティーはそのままなくなると思う。
「横須賀市が地域を支えている」という実感はあまりない。
防犯等の地域活動への参加をもっとアプローチするべき。
一部の地域しか潤っていないと思う。
地域を支えていればシャッター店は増えない。

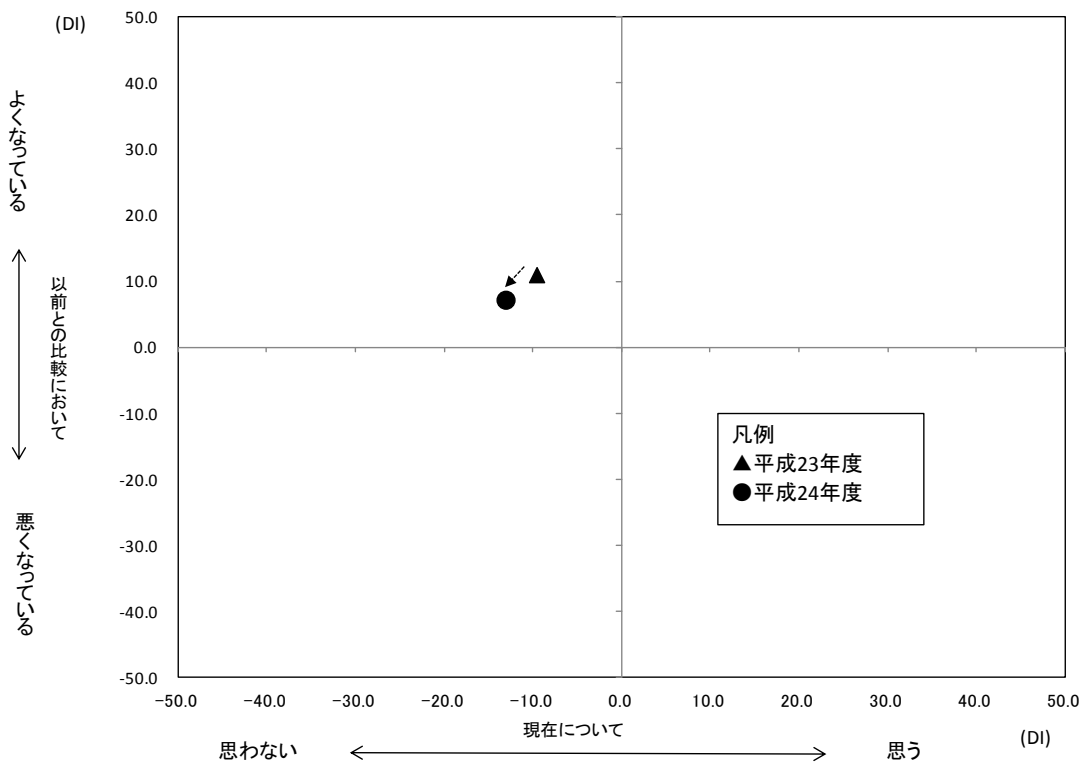
IV 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について

一 現在の状況と以前との比較 一

重点プログラムの狙いである「人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、着実に成長できるための都市力「都市の魅力」を備えているまち」に対しての実感を尋ねた。

1 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまちの傾向（全体）

図表IV-1 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況



図表Ⅳ－２ 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況

【現在の状況】

調査年度	件数(人)	(ポイント)								前年比 (24-23年)
		①思う	②やや思う	③どちらとも いえない	④あまり 思わない	⑤思わない	①+② (a)	④+⑤ (b)	DI (a)-(b)	
23年度	676	12.1	19.4	27.4	24.4	16.7	31.5	41.1	▲ 9.6	▲ 3.5
24年度	671	11.2	19.2	26.1	26.2	17.3	30.4	43.5	▲ 13.1	

【以前との比較】

調査年度	件数(人)	(ポイント)								前年比 (24-23年)
		①よくなって いる	②どちらかという とよくなっている	③変わって いない	④どちらかという と悪くなっている	⑤悪くなって いる	①+② (a)	④+⑤ (b)	DI (a)-(b)	
23年度	578	8.0	23.4	48.3	11.9	8.5	31.4	20.4	11.0	▲ 3.7
24年度	561	6.4	23.5	47.4	14.1	8.6	29.9	22.6	7.31	

○DIの前年比は、「現在の状況」▲3.5ポイント、「以前との比較」▲3.7ポイントといずれもマイナスとなり、前年より実感が低下した。

また、「現在の状況」のDIは各年度ともマイナスであり、依然として厳しい状況といえる。

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲9.6→) ▲13.1 (前年差 ▲3.5ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 11.0→) 7.31 (前年差 ▲3.7ポイント)で、プラス幅が縮小

【回答理由】

「①思う」「②やや思う」

- ・「都市力を備えたまちだと思う、地力がある、可能性を持っている」という横須賀の都市力や今後の発展可能性を挙げた回答が多く、「豊かな自然環境、温暖な気候」や「基地など他にはない魅力を活用した観光産業、知名度」など、本市の特性も多く挙げられている。

「①あまり思わない」「②思わない」

- ・「市の取り組みが不十分、遅れている、効果がない、方向性への疑問」といった市の取り組みの不足や、「人口減少、若年者の市外流出」「商業施設の減少、まちに活気がない、閉鎖的、非活性、不景気」など全設問を通じて指摘が多い人口減少、地域経済の衰退が、ここでも多く挙げられている。

■ 回答理由分類

持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち

【現在の状況】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
都市力を備えたまちだと思う、地力がある、可能性を持っている	24	26.7
豊かな自然環境、温暖な気候	11	12.2
基地など他にはない魅力を活用した観光産業、知名度	9	10.0
首都圏への近接、交通、都市基盤の整備・発展による利便性	7	7.8
地産地消の取り組み	4	4.4
住みやすい	4	4.4
平成町、市街中心地の活性化	3	3.3
行政、市民の意識向上	2	2.2
その他、意見等	18	20.0
アピール不足、力が発揮されていない、中途半端など	8	8.9
	90	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
都市力を備えたまちだと思わない、成長がない	22	16.2
市の取り組みが不十分、遅れている、効果がない、方向性への疑問	16	11.8
人口減少、若年者の市外流出	14	10.3
商業施設の減少、まちに活気がない、閉鎖的、非活性、不景気	14	10.3
企業の減少・撤退、雇用の減少、産業の減少	13	9.6
出産、子育て、教育、医療環境が不十分、悪化している	13	9.6
少子高齢化	8	5.9
独自の魅力がない、他市と変わらない	7	5.1
交通利便性の悪化、地理的環境	6	4.4
財政難	3	2.2
その他、意見等	19	14.0
自然環境を生かした子育てのまち	1	0.7
	136	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
安全安心、防災対策など市の取り組みの充実、資料から	10	23.8
基地や自然など魅力を活用した観光産業の充実	5	11.9
よくなっていると思う	4	9.5
首都圏に近接した立地環境、都市基盤の整備による利便性	4	9.5
市街中心地の再開発	3	7.1
子育て、福祉施設の増加やサービス向上	2	4.8
地域活動が盛んになってきた	2	4.8
その他、意見等	9	21.4
空回りしている、市外へのPR不足、マンションの空室がある	3	7.1
	42	100.0

「④どちらかというよくなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
商業施設の減少、商店街の空き店舗の増加、閉鎖的、非活性、不景気	11	22.9
よくなっていると思わない、先が見えない	7	14.6
出産、子育て、教育、医療環境が不十分、悪化している	5	10.4
市の取り組みが不十分、方向性への疑問、他市と変わらない	5	10.4
企業の減少・撤退、雇用の減少	4	8.3
少子高齢化	3	6.3
人口減少、若年者の市外流出	2	4.2
地域関係の希薄化	2	4.2
財政難	2	4.2
その他、意見等	7	14.6
	48	100.0

2 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまちについて（属性別）

（1）男女別

- ・「現在の状況」の前年比 DI は、男性はマイナス幅がやや縮小したが、女性は6ポイント程度低下した。
- ・一方、「以前との比較」の前年比 DI は、いずれも低下したが、男性の方が低下が大きい結果となった。

図表Ⅳ－3 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況（性別）

【現在の状況】

性別	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
男 性	23年度	269	30.1	44.6	▲ 14.5	0.7
	24年度	276	31.5	45.3	▲ 13.8	
女 性	23年度	396	32.4	39.1	▲ 6.7	▲ 6.1
	24年度	376	29.5	42.3	▲ 12.8	

【以前との比較】

性別	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
男 性	23年度	232	28.5	22.0	6.5	▲ 5.7
	24年度	238	24.4	23.5	0.8	
女 性	23年度	338	33.1	19.8	13.3	▲ 0.9
	24年度	307	34.5	22.1	12.4	

①男性

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲14.5→) ▲13.8 (前年差 0.7ポイント)でマイナス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 6.5→) 0.8 (前年差 ▲5.7ポイント)で、プラス幅が縮小

②女性

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲6.7→) ▲12.8 (前年差 ▲6.1ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 13.3→) 12.4 (前年差 ▲0.9ポイント)で、プラス幅が縮小

（2）年齢別

「現在の状況」では、40歳代以下で前年比DIに低下傾向がみられる。また、「以前との比較」では30歳代以下で前年比がマイナスとなり、若年層からの支持が得られていない様子が見られる。

図表Ⅳ－４ 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況（年齢別）

【現在の状況】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	77	31.5	41.1	▲ 9.6	▲ 4.3
	24年度	79	31.6	45.6	▲ 13.9	
30歳代	23年度	94	36.1	36.1	0.0	▲ 24.7
	24年度	77	27.3	51.9	▲ 24.7	
40歳代	23年度	108	25.9	48.1	▲ 22.2	▲ 11.1
	24年度	111	19.8	53.2	▲ 33.3	
50歳代	23年度	120	20.8	47.5	▲ 26.7	16.0
	24年度	122	32.0	42.6	▲ 10.7	
60歳以上	23年度	265	34.7	38.9	▲ 4.2	1.5
	24年度	264	34.5	37.1	▲ 2.7	

【以前との比較】

年齢階級	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
29歳以下	23年度	55	36.4	14.5	21.8	▲ 21.8
	24年度	46	23.9	23.9	0.0	
30歳代	23年度	75	36.0	18.6	17.4	▲ 19.2
	24年度	55	23.6	25.5	▲ 1.8	
40歳代	23年度	91	20.9	26.4	▲ 5.5	4.4
	24年度	92	23.9	25.0	▲ 1.1	
50歳代	23年度	100	24.6	23.6	1.0	10.9
	24年度	109	34.9	22.9	11.9	
60歳以上	23年度	242	35.5	19.4	16.1	▲ 4.6
	24年度	244	32.8	21.3	11.5	

①29歳以下

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲9.6→) ▲13.9 (前年差 ▲4.3 ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 21.8→) 0.0 (前年差 ▲21.8 ポイント)で、大きく低下

②30歳代

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 0.0→) ▲24.7 (前年差 ▲24.7 ポイント)で、大きく低下
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 17.4→) ▲1.8 (前年差 ▲19.2 ポイント)で、大きく低下

③40歳代

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲22.2→) ▲33.3 (前年差 ▲11.1 ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 ▲5.5→) ▲1.1 (前年差 4.4 ポイント)で、マイナス幅が縮小

④50歳代

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲26.7→) ▲10.7 (前年差 16.0 ポイント)で、マイナス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 1.0→) 11.9 (前年差 10.9 ポイント)で、プラス幅が拡大

⑤60歳以上

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲4.2→) ▲2.7 (前年差 1.5 ポイント)で、マイナス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 16.1→) 11.5 (前年差 ▲4.6 ポイント)で、プラス幅が縮小

(3) 地域別

- ・「現在の状況」「以前との比較」とともに前年比 DI が低下した地域は、[追浜・田浦][本庁・逸見][西]の3地域で、特に[追浜・田浦]地域が大きく低下した。
- ・一方、「現在の状況」「以前との比較」とともに前年比 DI が上昇した地域は[衣笠]地域で、地域によって大きな差異がみられる。

図表Ⅳ－6 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況（地域別）

【現在の状況】

居住地域	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①思う+②やや思う (a)	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年比
追浜・田浦	23年度	80	35.0	31.3	3.8	▲ 33.6
	24年度	67	19.4	49.3	▲ 29.9	
本庁・逸見	23年度	133	28.6	41.4	▲ 12.8	▲ 4.9
	24年度	130	30.8	48.5	▲ 17.7	
衣笠	23年度	123	20.3	46.3	▲ 26.0	14.3
	24年度	102	32.4	44.1	▲ 11.8	
大津・浦賀	23年度	173	31.2	31.2	0.0	0.7
	24年度	146	36.3	35.6	0.7	
久里浜・北下浦	23年度	146	28.1	34.2	▲ 6.2	▲ 4.2
	24年度	154	31.8	42.2	▲ 10.4	
西	23年度	83	27.7	41.0	▲ 13.3	▲ 17.5
	24年度	52	19.2	50.0	▲ 30.8	

【以前との比較】

居住地域	調査年度	件数(人)	(ポイント)			
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年比
追浜・田浦	23年度	80	32.5	7.5	25.0	▲ 10.7
	24年度	56	28.6	14.3	14.3	
本庁・逸見	23年度	133	24.1	15.8	8.3	▲ 5.6
	24年度	113	29.2	26.5	2.7	
衣笠	23年度	123	18.7	19.5	▲ 0.8	8.3
	24年度	80	30.0	22.5	7.5	
大津・浦賀	23年度	173	25.4	14.5	11.0	▲ 3.9
	24年度	127	29.1	22.0	7.1	
久里浜・北下浦	23年度	146	25.3	18.5	6.8	6.9
	24年度	124	33.1	19.4	13.7	
西	23年度	83	19.3	18.1	1.2	▲ 8.0
	24年度	44	29.5	36.4	▲ 6.8	

①追浜・田浦

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 3.8→) ▲29.9 (前年差 ▲33.6 ポイント)で、大きく低下
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 25.0→) 14.3 (前年差 ▲10.7 ポイント)で、プラス幅が縮小

②本庁・逸見

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲12.8→) ▲17.7 (前年差 ▲4.9 ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 8.3 →) 2.7 (前年差 ▲5.6 ポイント)で、プラス幅が縮小

③衣笠

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲26.0→) ▲11.8 (前年差 14.3 ポイント)で、マイナス幅が縮小
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 ▲0.8→) 7.5 (前年差 8.3 ポイント)で、プラスに好転

④大津・浦賀

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 0.0→) 0.7 (前年差 0.7 ポイント)で、大きな変化なし
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 11.0→) 7.1 (前年差 ▲3.9 ポイント)で、プラス幅が縮小

⑤久里浜・北下浦

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲6.2→) ▲10.4 (前年差 ▲4.2 ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 6.8→) 13.7 (前年差 6.9 ポイント)で、プラス幅が拡大

⑥西

- ▶ 「現在の状況」 DIは、(前年 ▲13.3→) ▲30.8 (前年差 ▲17.5 ポイント)で、マイナス幅が拡大
- ▶ 「以前との比較」 DIは、(前年 1.2→) ▲6.8 (前年差 ▲8.0 ポイント)で、マイナスに転換

V 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について

一 優先して取り組むべき政策 一

「人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、横須賀が着実に成長できるために、今後、市はどのような政策に優先して取り組むべきか」について、重点プログラムを構成する10項目の取り組みの方向性と「その他」の選択肢を設け尋ねた。

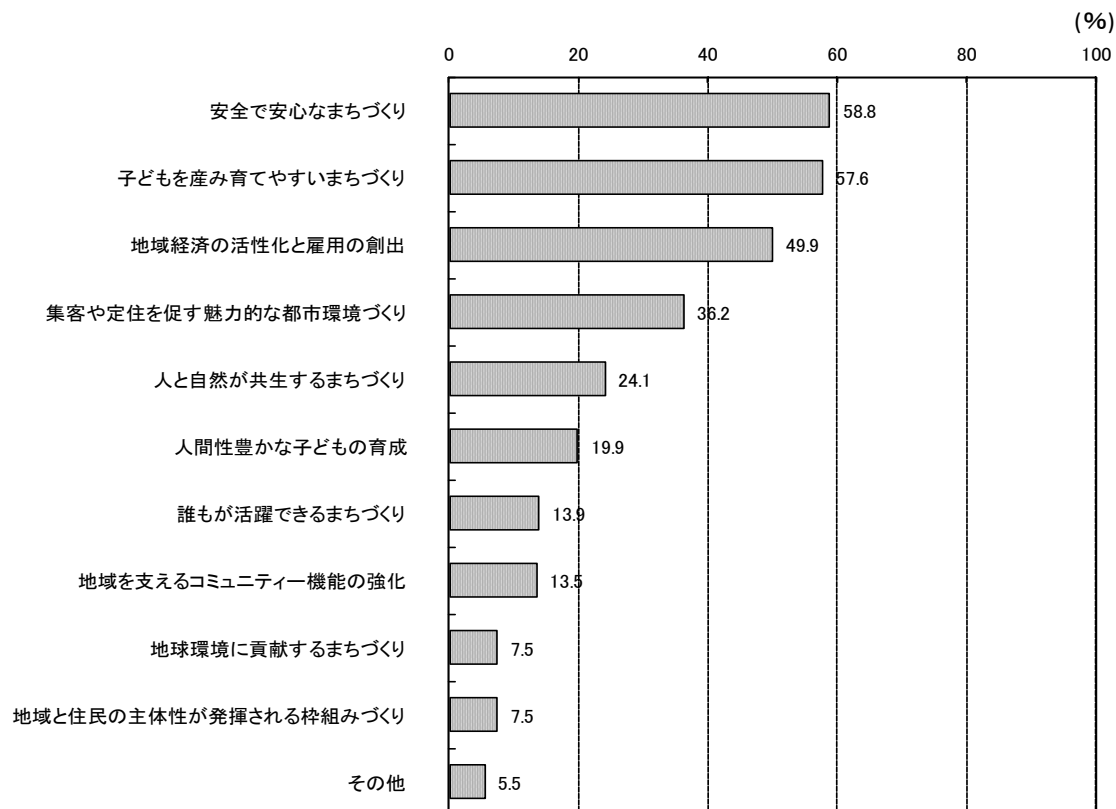
（複数回答3つまで）

1 優先して取り組むべき政策の傾向（全体）

（1）24年度調査結果

- ・「安全で安心なまちづくり（58.8%）」が最も高く、ほぼ同じ値で「子どもを産み育てやすいまちづくり（57.6%）」が選択されている。
- ・選択順位別では、1番目の項目として「子どもを産み育てやすいまちづくり」が最も多く選択されており、その値は「安全で安心なまちづくり」より10ポイント以上高く、突出した傾向を示している。

図表V-1 優先して取り組むべき政策



注) その他には、市への個別具体的な要望等が多く含まれている

図表V-2 優先して取り組むべき政策（選択順位別）

プログラムおよび取り組みの方向性(順位別)		全体		1番目		2番目		3番目	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
プログラム1	(1-1)子どもを産み育てやすいまち	441	57.6	281	36.7	81	10.8	79	10.7
	(1-2)人間性豊かな子どもの育成	152	19.9	55	7.2	65	8.7	32	4.3
プログラム2	(2-1)誰もが活躍できるまち	106	13.9	25	3.3	49	6.6	32	4.3
	(2-2)安全で安心なまち	450	58.8	177	23.1	182	24.4	91	12.3
プログラム3	(3-1)人と自然が共生するまち	184	24.1	33	4.3	71	9.5	80	10.8
	(3-2)地球環境に貢献するまち	57	7.5	4	0.5	29	3.9	24	3.2
プログラム4	(4-1)地域経済の活性化と雇用の創出	382	49.9	121	15.8	140	18.7	121	16.4
	(4-2)集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	277	36.2	39	5.1	96	12.9	142	19.2
プログラム5	(5-1)地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	57	7.5	6	0.8	10	1.3	41	5.5
	(5-2)地域を支えるコミュニティ機能の強化	103	13.5	9	1.2	19	2.5	75	10.1
その他		42	5.5	15	2.0	5	0.7	22	3.0
サンプル数(n)			100.0	765	100.0	747	100.0	739	100.0

※回答は順に3つまでの複数選択のため、それぞれの回答数(n)は異なる

(2) 23年度-24年度調査結果比較

- ・「安全で安心なまちづくり」「子どもを産み育てやすいまちづくり」の上位2項目は、前年度と比較してやや上昇した。
- ・これら以外では「誰もが活躍できるまちづくり」がやや上昇、「地球環境に貢献するまちづくり」がやや低下した。その他の項目については、大きな変化はみられない。

図表V-3 取り組みの方向性別優先度の構成比（H23-24年比較）

取り組みの方向性	23年度		24年度		前年比
	順位	構成比(%)	順位	構成比(%)	
(2-2)安全で安心なまちづくり	2	61.6	1	58.8	▲ 2.8
(1-1)子どもを産み育てやすいまちづくり	1	61.9	2	57.6	▲ 4.3
(4-1)地域経済の活性化と雇用の創出	3	49.8	3	49.9	0.1
(4-2)集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	4	34.7	4	36.2	1.5
(3-1)人と自然が共生するまちづくり	5	24.1	5	24.1	▲ 0.0
(1-2)人間性豊かな子どもの育成	6	21.0	6	19.9	▲ 1.1
(2-1)誰もが活躍できるまちづくり	8	10.6	7	13.9	3.3
(5-2)地域を支えるコミュニティ機能の強化	7	12.6	8	13.5	0.9
(3-2)地球環境に貢献するまちづくり	9	10.4	9	7.5	▲ 2.9
(5-1)地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	10	5.8	10	7.5	1.7

※回答は3つまでの複数選択のため、構成比の合計は100%にならない

2 優先して取り組むべき政策の傾向（属性別）

（1）男女別

- ・女性の回答割合が最も高かったのは「安全で、安心なまちづくり」で、前年比もやや増加した。
- ・一方、男性では、「子どもを産み育てやすいまちづくり」が最も多く選択された。

図表 V-4 優先して取り組むべき政策（性別：H23-24 年比較）

性別	調査年度	件数(人)											(%)
			1-1 子どもを生み育てやすいまちづくり	1-2 人間性豊かな子どもの育成	2-1 誰もが活躍できるまちづくり	2-2 安全で安心なまちづくり	3-1 人と自然が共生するまちづくり	3-2 地球環境に貢献するまちづくり	4-1 地域経済の活性化と雇用の創出	4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	5-1 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	5-2 地域を支えるコミュニティ機能の強化	その他
男性	23年度	287	58.5	17.8	13.6	60.6	25.4	10.8	50.5	37.6	5.9	11.1	4.5
	24年度	315	54.9	19.7	16.8	51.1	25.1	6.3	49.5	38.1	9.8	13.7	7.0
	増減	28	▲ 3.6	1.9	3.2	▲ 9.5	▲ 0.3	▲ 4.5	▲ 1.0	0.5	3.9	2.6	2.5
女性	23年度	433	64.4	23.1	8.3	62.4	23.6	10.2	48.7	33.0	5.5	13.4	4.2
	24年度	428	59.3	20.1	11.4	63.6	23.6	7.9	50.0	35.5	6.1	14.0	4.4
	増減	▲ 5	▲ 5.1	▲ 3.0	3.1	1.2	0.0	▲ 2.3	1.3	2.5	0.6	0.6	0.2

※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

（2）年齢別

- ・30歳、40歳代の約7割が、優先すべき政策として「子どもを産み育てやすいまちづくり」を選択している。
- ・プログラム4に関連する「地域経済の活性化と雇用の創出」「集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」については、若年層で回答割合に増加傾向がみられる。

図表 V-5 優先して取り組むべき政策（年齢別：H23-24 年比較）

年齢階級	調査年度	件数(人)	(%)										
			1-1 子どもを生き 育てやすい まちづくり	1-2 人間性豊かな 子どもの育成	2-1 誰もが活躍 できる まちづくり	2-2 安全で安心な まちづくり	3-1 人と自然が 共生する まちづくり	3-2 地球環境に 貢献する まちづくり	4-1 地域経済の 活性化と 雇用の創出	4-2 集客や定住を 促す魅力的な 都市環境 づくり	5-1 地域と住民の 主体性が 発揮される 仕組みづくり	5-2 地域を支える コミュニティ 機能の強化	その他
15-29歳	23年度	91	63.7	29.7	14.3	69.2	23.1	14.3	36.3	27.5	5.5	11.0	5.5
	24年度	92	65.2	22.8	14.1	63.0	19.6	13.0	43.5	37.0	6.5	13.0	7.6
	増減	1	1.5	▲ 6.9	▲ 0.2	▲ 6.2	▲ 3.5	▲ 1.3	7.2	9.5	1.0	2.0	2.1
30歳代	23年度	100	71.0	11.0	8.0	66.0	22.0	6.0	50.0	40.0	4.0	13.0	4.0
	24年度	90	70.0	15.6	14.4	61.1	14.4	3.3	57.8	36.7	3.3	12.2	5.6
	増減	▲ 10	▲ 1.0	4.6	6.4	▲ 4.9	▲ 7.6	▲ 2.7	7.8	▲ 3.3	▲ 0.7	▲ 0.8	1.6
40歳代	23年度	118	66.9	19.5	6.8	58.5	22.0	13.6	51.7	35.6	3.4	7.6	8.5
	24年度	118	59.3	15.3	13.6	61.0	23.7	8.5	44.1	39.8	7.6	15.3	8.5
	増減	0	▲ 7.6	▲ 4.2	6.8	2.5	1.7	▲ 5.1	▲ 7.6	4.2	4.2	7.7	▲ 0.0
50歳代	23年度	131	62.6	20.6	8.4	64.1	28.2	11.5	52.7	34.4	2.3	11.5	2.3
	24年度	134	60.4	16.4	14.9	55.2	25.4	7.5	56.7	41.0	10.4	11.2	3.7
	増減	3	▲ 2.2	▲ 4.2	6.5	▲ 8.9	▲ 2.8	▲ 4.0	4.0	6.6	8.1	▲ 0.3	1.4
60歳代	23年度	141	59.6	19.1	10.6	55.3	22.7	7.1	53.9	37.6	10.6	17.0	3.5
	24年度	154	55.2	20.8	12.3	61.7	27.9	9.1	50.6	35.7	7.1	14.9	4.5
	増減	13	▲ 4.4	1.7	1.7	6.4	5.2	2.0	▲ 3.3	▲ 1.9	▲ 3.5	▲ 2.1	1.0
70歳以上	23年度	138	52.9	26.1	14.5	60.1	26.1	10.9	48.6	32.6	7.2	13.8	2.9
	24年度	138	49.3	29.7	15.9	58.0	31.9	3.6	52.2	34.8	10.1	16.7	5.1
	増減	0	▲ 3.6	3.6	1.4	▲ 2.1	5.8	▲ 7.3	3.6	2.2	2.9	2.9	2.2

※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

(3) 地域別

- ・政策の優先度が最も高い「安全で安心なまちづくり」は、[大津・浦賀][西]地域で前年度より増加した。
- ・「子どもを産み育てやすいまちづくり」は、[本庁・逸見]で10%以上減少した。
- ・プログラム4を構成する「地域経済の活性化と雇用の創出」「集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」は、多くの地域で、前年度より回答割合に増加傾向がみられる。

図表V-6 優先して取り組むべき政策（地域別：H23-24年比較）

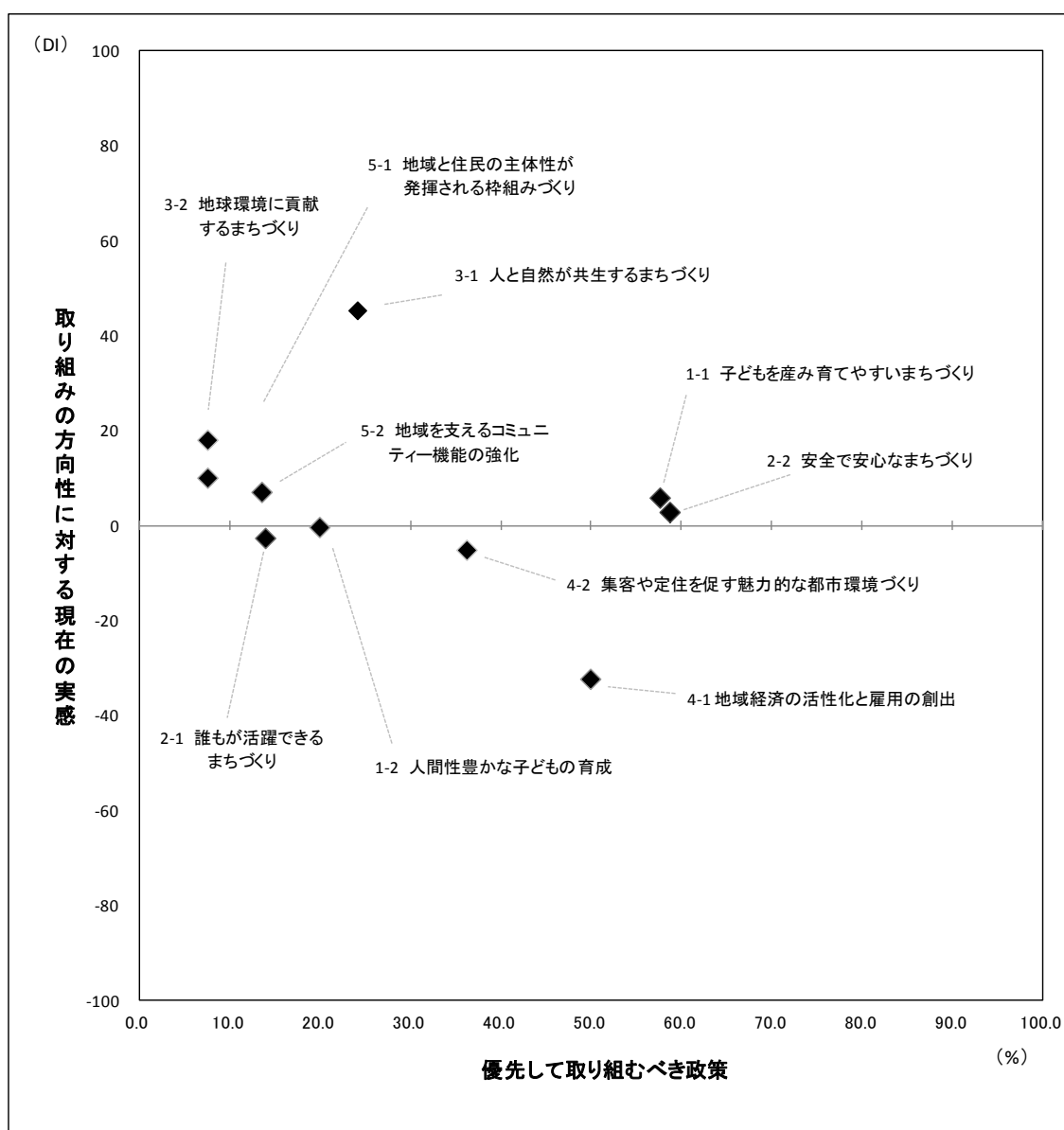
居住地域	調査年度	件数(人)											(%)
			1-1 子どもを生み 育てやすい まちづくり	1-2 人間性豊かな 子どもの育成	2-1 誰もが活躍 できる まちづくり	2-2 安全で安心な まちづくり	3-1 人と自然が 共生する まちづくり	3-2 地球環境に 貢献する まちづくり	4-1 地域経済の 活性化と 雇用の創出	4-2 集客や定住を 促す魅力的な 都市環境 づくり	5-1 地域と住民の 主体性が 発揮される 枠組みづくり	5-2 地域を支える コミュニティー 機能の強化	その他
追浜・田浦	23年度	78	59.0	21.8	9.0	65.4	26.9	19.2	38.5	37.2	6.4	14.1	2.6
	24年度	78	57.7	21.8	11.5	62.8	24.4	7.7	42.3	41.0	7.7	11.5	6.4
	増減	0	▲1.3	0.0	2.6	▲2.6	▲2.6	▲11.5	3.8	3.8	1.3	▲2.6	3.8
本庁・逸見	23年度	129	65.9	17.1	8.5	62.0	22.5	9.3	47.3	38.0	5.4	10.9	7.0
	24年度	144	50.0	20.1	13.2	54.9	18.8	10.4	55.6	43.1	6.9	13.2	6.9
	増減	15	▲15.9	3.1	4.7	▲7.2	▲3.7	1.1	8.3	5.1	1.5	2.3	▲0.0
衣笠	23年度	122	63.1	19.7	9.0	67.2	21.3	11.5	58.2	27.9	6.6	10.7	2.5
	24年度	114	58.8	15.8	11.4	55.3	23.7	7.9	53.5	34.2	7.9	14.0	7.0
	増減	▲8	▲4.3	▲3.9	2.4	▲11.9	2.4	▲3.6	▲4.7	6.3	1.3	3.4	4.6
大津・浦賀	23年度	166	61.4	18.7	10.2	59.0	27.7	10.8	47.6	37.3	4.8	14.5	4.2
	24年度	169	60.4	17.2	15.4	60.4	30.8	4.7	47.9	33.7	8.9	14.2	3.0
	増減	3	▲1.1	▲1.5	5.1	1.3	3.1	▲6.1	0.3	▲3.6	4.1	▲0.3	▲1.3
久里浜・北下浦	23年度	143	63.6	27.3	9.1	62.2	21.7	7.7	49.0	35.0	7.0	11.2	3.5
	24年度	174	59.2	21.8	15.5	59.2	27.0	6.3	45.4	36.8	9.2	13.8	4.0
	増減	31	▲4.4	▲5.4	6.4	▲3.0	5.3	▲1.4	▲3.5	1.8	2.2	2.6	0.5
西	23年度	82	56.1	22.0	19.5	53.7	26.8	6.1	54.9	32.9	3.7	14.6	6.1
	24年度	64	57.8	28.1	14.1	59.4	10.9	7.8	54.7	28.1	1.6	17.2	7.8
	増減	▲18	1.7	6.2	▲5.4	5.7	▲15.9	1.7	▲0.2	▲4.8	▲2.1	2.6	1.7

※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

3 優先して取り組むべき政策と取り組みの方向性に対する現在の実感について

- ・「優先して取り組むべき政策」の回答割合が高く、現在の実感が低いものは「プログラム4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」となった。
- ・「優先して取り組むべき政策」の回答割合が最も高い「2-2 安全で安心なまちづくり」に対する「現在の実感」は、ほぼ、プラスマイナスゼロの状況となった。
- ・重点プログラム3および5を構成する取り組みの方向性については、すべて「現在の実感」がプラスで、「優先して取り組むべき政策」の回答割合が低いゾーンにある。

図表V-7 優先して取り組むべき政策×現在の実感



基本的な属性(F1～F5)

(1) 性別 (F1)

回答数	件数(人)	構成比(%)		
		24年度	23年度	増減
全体	791	100.0	100.0	
男性	324	41.0	39.5	1.5
女性	437	55.2	58.7	▲ 3.5
無回答	30	3.8	1.7	2.1

(2) 年齢 (F2)

回答数	件数(人)	構成比(%)		
		24年度	23年度	増減
全体	791	100.0	100.0	
15～19歳	30	3.8	4.5	▲ 0.7
20～29歳	70	8.8	7.6	1.2
30～39歳	90	11.4	13.4	▲ 2.0
40～49歳	122	15.4	15.8	▲ 0.4
50～59歳	140	17.7	18.0	▲ 0.3
60～69歳	158	20.0	19.3	0.7
70歳以上	152	19.2	19.4	▲ 0.2
無回答	29	3.7	1.9	1.8

(3) 居住地域 (F3)

回答数	件数(人)	構成比(%)		
		24年度	23年度	増減
全体	791	100.0	100.0	
本庁地域	124	15.7	14.6	1.1
追浜地域	44	5.6	6.0	▲ 0.4
田浦地域	36	4.6	4.7	▲ 0.1
逸見地域	21	2.7	3.1	▲ 0.4
衣笠地域	117	14.8	16.4	▲ 1.6
大津地域	75	9.5	10.4	▲ 0.9
浦賀地域	102	12.9	12.6	0.3
久里浜地域	108	13.7	12.0	1.7
北下浦地域	67	8.5	7.5	1.0
西地域	67	8.5	11.1	▲ 2.6
無回答	30	3.8	1.7	2.1

(4) 職業 (F4)

回答数	件数(人)	構成比(%)		
		24年度	23年度	増減
全体	791	100.0	100.0	
農林漁業	5	0.6	0.3	0.3
自営(商店・工務店・工場等)	16	2.0	1.9	0.1
自営(サービス業)	16	2.0	1.7	0.3
会社員・公務員 (事務職・専門職・管理職)	130	16.4	15.8	0.6
会社員・公務員(販売／サービス)	66	8.3	8.4	▲ 0.1
会社員・公務員 (保安・運輸／通信・建設／労務)	37	4.7	4.0	0.7
自由業	6	0.8	0.7	0.1
家事専業	128	16.2	17.8	▲ 1.6
アルバイト・パートタイマー・派遣社員	108	13.7	15.4	▲ 1.7
学生	42	5.3	5.7	▲ 0.4
無職	184	23.3	24.2	▲ 0.9
その他	25	3.2	2.3	0.9
無回答	28	3.5	1.7	1.8

(5) 世帯の状況 (F5)

回答数	件数(人)	構成比(%)		
		24年度	23年度	増減
全体	867	100.0	100.0	
小学生未満の子どもがいる	55	6.3	6.8	▲ 0.5
小学生～中学生の子どもがいる	69	8.0	11.6	▲ 3.6
65歳以上の高齢者がいる	340	39.2	32.4	6.8
単身世帯(一人暮らし)	125	14.4	15.6	▲ 1.2
該当なし	250	28.8	31.8	▲ 3.0
無回答	28	3.2	1.8	1.4

基本計画重点プログラム 市民アンケート

質問・回答用紙

-
- ◇ こちらの用紙には、アンケートの質問と回答欄があります。
 - ◇ 各設問の理由欄について、特にない場合にはご記入いただくことなく結構です。
 - ◇ ご回答いただく際には、別冊の「基本計画重点プログラム市民アンケート参考資料」を参考にしてください。
 - ◇ 回答欄にご記入の上、3つ折りにして同封の返信用封筒(切手不要)に封入し、平成 24 年 5 月 21 日 (月) までにご投函ください。
 - ◇ 本調査結果は、市ホームページなどで公表しますが、「アンケート調査結果報告書」の送付を希望される場合は、返信用封筒の裏面に住所・氏名を記載してください。(封筒はアンケート集計には利用しません)
-

重点プログラム1 『新しい芽を育む』

～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～

⇒ 参考資料 3ページ・4ページをご覧ください

- 問1** 横須賀市は、「子どもを産み育てやすいまち」だと思いますか。
現在について、選択肢1-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢1-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢1-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢1-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

- 問2** 横須賀市は、「人間性豊かな子どもの育成」が進められているまちだと思いますか。

現在について、選択肢2-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢2-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢2-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢2-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム1 『新しい芽を育む』について

「重点プログラム1」では、子どもを生き育てやすく、子ども自身が健やかに成長する環境をつくとともに、教育環境を充実させることで、「次代を担う新しい芽が育まれる都市の実現」を目指しています。

- 問3** 横須賀市は、「次代を担う新しい芽が育まれるまち」だと思いますか。
現在について、選択肢3-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢3-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢3-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢3-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム2 『命を守る』

～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～

⇒ 参考資料 5ページ ～ 7ページをご覧ください

問4 横須賀市は、年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、「誰もが活躍できるまち」だと思いますか。

現在について、選択肢4-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢4-(2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢4-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢4-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問5 横須賀市は、「安全で安心なまち」だと思いますか。

現在について、選択肢5-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢5-(2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢5-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢5-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム2 『命を守る』について

「重点プログラム2」では、全ての市民がそれぞれの可能性や能力を発揮しながら、いきいき暮らせる場や機会を充実させるとともに、安全で安心して暮らせる生活環境を整備することで、「生きがいに満ちあふれ命を大切にする都市の実現」を目指しています。

問6 横須賀市は、「生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち」だと思いますか。現在について、選択肢6-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、選択肢6-(2)から選んで回答欄に記入してください。また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢6-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢6-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム3 『環境を守る』

～人と自然と共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

⇒ 参考資料 9ページ ・ 10ページをご覧ください

問7 横須賀市は、「人と自然が共生するまち」だと思いますか。
現在について、選択肢7-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢7-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢7-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢7-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問8 横須賀市は、「地球環境に貢献するまちづくり」が進められているまちだと思いますか。

現在について、選択肢8-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢8-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢8-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢8-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム3 『環境を守る』について

「重点プログラム3」では、豊かな自然を守り育むとともに、地球規模の環境問題に配慮したまちづくりを推進することで、「環境と調和した潤いのある都市の実現」を目指しています。

- 問9** 横須賀市は、「環境と調和した潤いのあるまち」だと思いますか。
現在について、選択肢9-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢9-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄	<input type="text"/>	理由	<input type="text"/>
--------	-----	----------------------	----	----------------------

選択肢9-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較 において	回答欄	<input type="text"/>	理由	<input type="text"/>
----------------	-----	----------------------	----	----------------------

選択肢9-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム4 『にぎわいを生む』

～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

⇒ 参考資料 11 ページ ・ 12 ページをご覧ください

問 10 横須賀市は、「地域経済の活性化と雇用の創出」が図られているまちだと思いますか。

現在について、選択肢 10 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 10 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 10 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 10 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問 11 横須賀市は、「集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」が進められているまちだと思いますか。

現在について、選択肢 11 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 11 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 11 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 11 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム4 『にぎわいを生む』について

「重点プログラム4」では、持続可能な産業構造や利便性の高い都市構造の構築を図るとともに、地域資源を生かした新たなまちの魅力を創出し、「にぎわいと活力に満ちた都市の実現」を目指しています。

問 12 横須賀市は「にぎわいと活力に満ちたまち」だと思いますか。
現在について、選択肢 12 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 12 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 12 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との
において

回答欄

理由

選択肢 12 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム5 『地域力を育む』

～地域と住民の主体性が発揮させる枠組みづくり・地域を支えるコミュニティ機能の強化～

⇒ 参考資料 13 ページ ・ 14 ページをご覧ください

問 13 横須賀市は、「地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり」が進められているまちだと思いますか。
現在について、選択肢 13 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 13 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄	<input type="text"/>	理由	<input type="text"/>
--------	-----	----------------------	----	----------------------

選択肢 13 - (1)
① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない ⑥ わからない

以前との比較 において	回答欄	<input type="text"/>	理由	<input type="text"/>
----------------	-----	----------------------	----	----------------------

選択肢 13 - (2)
① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない ④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問 14 横須賀市は、「地域を支えるコミュニティ*機能の強化」が図られているまちだと思いますか。
現在について、選択肢 14 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 14 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

*コミュニティ：同じ地域に暮らし、協力して地域の課題に取り組む人々の集まり。

現在について	回答欄	<input type="text"/>	理由	<input type="text"/>
--------	-----	----------------------	----	----------------------

選択肢 14 - (1)
① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない ⑥ わからない

以前との比較 において	回答欄	<input type="text"/>	理由	<input type="text"/>
----------------	-----	----------------------	----	----------------------

選択肢 14 - (2)
① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない ④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム5 『地域力を育む』について

「重点プログラム5」では、それぞれの地域が、自らの課題に対応するとともに、個性や特色を生かしながら住民が主体になってまちの在り方を決める、「住民自治に根差した都市の実現」を目指しています。

- 問 15** 横須賀市は、「住民自治に根差したまち」だと思いますか。
現在について、選択肢 15 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 15 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 15 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 15 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

『持続可能な発展を遂げる都市力』について

今日、多くの自治体がそうであるように、横須賀市も人口減少や少子高齢化などの都市の持続的な発展を妨げる課題に直面しています。

これまでの設問では、この厳しい状況下で着実に成長できるための土台づくり、また、全政策・施策の先導役として基本計画に位置付けた「5つの重点プログラム」に関して、皆さまの実感をお伺いしてきました。

問 16 重点プログラムに関する設問の最後にお伺いします。

横須賀市は、人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、着実に成長できるための「都市力（都市の魅力）」を備えているまちだと思いますか。

現在について、選択肢 16 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、選択肢 16 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 16 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 16 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問 17 人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、横須賀市が着実に成長できるために、今後、市はどのような政策に優先して取り組むべきだと思いますか。次の選択肢から優先すべきと思う順に3つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。

なお、⑪その他を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- ① 子どもを産み育てやすいまちづくり
- ② 人間性豊かな子どもの育成
- ③ 誰もが活躍できるまちづくり
- ④ 安全で安心なまちづくり
- ⑤ 人と自然が共生するまちづくり
- ⑥ 地球環境に貢献するまちづくり
- ⑦ 地域経済の活性化と雇用の創出
- ⑧ 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり
- ⑨ 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり
- ⑩ 地域を支えるコミュニティー機能の強化
- ⑪ その他（具体的にお書きください）

回答欄

1 番 目	2 番 目	3 番 目	「⑪その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい
-------	-------	-------	--------------------------

『横須賀市の魅力やイメージ』について

『横須賀市の魅力やイメージ』についてお伺いします。

問 18 あなたにとって、横須賀市の魅力的なところとは、どのようなところだと思いますか。
次の選択肢から魅力的だと思う順に3つまで選んで回答欄に記入してください。
なお、⑮その他を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- ① 教育や文化の水準が高い
- ② 子育てに対する支援が充実している
- ③ 高齢者、障害者などへの福祉が充実している
- ④ 道路、公園などの都市基盤が整備され、生活するのに便利である
- ⑤ 身近でスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会に恵まれている
- ⑥ 犯罪が少ない・防災面が充実しているなど安心して暮らせる
- ⑦ 大都市に近く、通勤・通学に便利である
- ⑧ 仕事や収入の機会に恵まれている
- ⑨ 海や緑などの自然環境に恵まれている
- ⑩ 魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる
- ⑪ 観光資源や歴史的資産に恵まれている
- ⑫ 国際色豊かである
- ⑬ 市民のマナーが良く、快適な生活ができる
- ⑭ 地域での人間関係がとてもよい
- ⑮ その他（具体的にお書きください）

回答欄

1 番目	2 番目	3 番目	「⑮その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい
------	------	------	--------------------------

問 19 あなたは横須賀市に自分のまちとしての愛着を感じていますか。次の選択肢からあてはまるものを1つだけ選んで回答欄に記入してください。

- ① 感じている
- ② やや感じている
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり感じていない
- ⑤ 感じていない
- ⑥ わからない

回答欄

--

問 20 あなたが考える横須賀市のイメージについて、「現在の都市イメージ (A)」および「望ましい都市イメージ (B)」を、次の選択肢からそれぞれ3つまで選んで回答欄に記入してください。
 なお、⑱その他を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- ① 外国人との交流が盛んな「国際交流のまち」
- ② さまざまな分野の研究開発機関が集積する「ICT (情報通信技術)・先端技術のまち」
- ③ 芸術・文化活動が盛んな「文化芸術のまち」
- ④ 米軍基地・自衛隊がある「基地のまち」
- ⑤ 防犯・防災体制が整った「安全・安心なまち」
- ⑥ 市外から多くの人を訪れる「観光・レジャーのまち」
- ⑦ 豊かな自然が残されている「自然環境に恵まれたまち」
- ⑧ 首都圏への通勤者が多い「住宅中心のまち」
- ⑨ ごみのリサイクルや地球温暖化対策など「環境にやさしいまち」
- ⑩ 道路、公園など都市基盤の整った「生活に便利で快適なまち」
- ⑪ 健康づくりのための施設や医療機関が充実した「健康増進・医療福祉のまち」
- ⑫ 高齢者・障害者をはじめとした「誰もが安心して暮らせるまち」
- ⑬ 保育所など子育て環境が充実した「子育てのまち」
- ⑭ 学校教育が充実した「教育のまち」
- ⑮ 農業・漁業が盛んな「農・漁業のまち」
- ⑯ 自動車産業など「工業が盛んなまち」
- ⑰ 商業施設が充実した「にぎわいのあるまち」
- ⑱ その他 (ご自由にお書きください)

回答欄

A 欄 (現在の都市イメージ)	1 番目	2 番目	3 番目	「⑱その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい
B 欄 (望ましい都市イメージ)	1 番目	2 番目	3 番目	「⑱その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい

あなた自身のことについてお伺いします

※記入もれがあると、いただいた回答が無効になってしまうことがあります。
全員の方がお答えください。

次の各項目において、あなたにあてはまるものを選んでください。

F 1 <性別>

- ① 男性 ② 女性

回答欄

F 2 <年齢>

- ① 15～19歳 ② 20～24歳 ③ 25～29歳 ④ 30～34歳
⑤ 35～39歳 ⑥ 40～44歳 ⑦ 45～49歳 ⑧ 50～54歳
⑨ 55～59歳 ⑩ 60～64歳 ⑪ 65～69歳 ⑫ 70歳以上

回答欄

F 3 <お住まいの地域> (次ページに地域別一覧表があります。ご参照ください。)

- ① 本庁地域 ② 追浜地域 ③ 田浦地域 ④ 逸見地域
⑤ 衣笠地域 ⑥ 大津地域 ⑦ 浦賀地域 ⑧ 久里浜地域
⑨ 北下浦地域 ⑩ 西地域

回答欄

F 4 <職業>

- ① 農林漁業 ② 自営(商店・工務店・工場等)
③ 自営(サービス業) ④ 会社員・公務員(事務職・専門職・管理職)
⑤ 会社員・公務員(販売/サービス) ⑥ 会社員・公務員(保安・運輸/通信・建設/労務)
⑦ 自由業 ⑧ 家事専業
⑨ アルバイト・パートタイマー・派遣社員 ⑩ 学生
⑪ 無職 ⑫ その他

回答欄

F 5 <世帯の状況> (複数回答可)

- ① 小学生未満の子どもがいる
② 小学生～中学生の子どもがいる
③ 65歳以上の高齢者がいる
④ 単身世帯(一人暮らし)
⑤ ①～④に該当なし

回答欄

ご協力ありがとうございました。

地域別一覧表

(町名)	(地域別)
稲岡町、不入斗町、上町、小川町、大滝町、楠ヶ浦町、坂本町、佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、田戸台、鶴が丘、泊町、日の出町、深田台、富士見町、平成町、平和台、望洋台、本町、緑が丘、三春町、安浦町、米が浜通、若松町	➡ ①本庁地域
浦郷町、追浜町、追浜東町、追浜本町、追浜南町、湘南鷹取、鷹取、夏島町、浜見台	➡ ②追浜地域
田浦町、田浦泉町、田浦大作町、田浦港町、長浦町、箱崎町、船越町、港が丘	➡ ③田浦地域
安針台、西逸見町、東逸見町、逸見が丘、山中町、吉倉町	➡ ④逸見地域
阿部倉、池上、大矢部、金谷、衣笠町、衣笠栄町、公郷町、小矢部、平作、森崎	➡ ⑤衣笠地域
池田町、大津町、桜が丘、根岸町、走水、馬堀町、馬堀海岸	➡ ⑥大津地域
浦賀、浦賀丘、浦上台、小原台、鴨居、光風台、西浦賀、東浦賀町、二葉、南浦賀、吉井	➡ ⑦浦賀地域
岩戸、内川、内川新田、久比里、久村、久里浜、久里浜台、佐原、神明町、長瀬、ハイランド、舟倉、若宮台	➡ ⑧久里浜地域
栗田、グリーンハイツ、津久井、長沢、野比、光の丘	➡ ⑨北下浦地域
秋谷、芦名、太田和、荻野、子安、佐島、佐島の丘、湘南国際村、須軽谷、武、長井、長坂、林、御幸浜、山科台	➡ ⑩西地域